

第24期考古学セミナー（2022年度）

—最上地域の縄文時代—

第1回講座

講義①

最上地域の縄文時代早期・前期の 遺構と遺物

当館館長

渋谷 孝雄

令和4年9月25日（日）

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物

渋谷 孝雄

1 縄文時代早期の遺跡

当該地域の縄文時代早期の遺跡は多くはない。新庄市仁間磯ノ沢遺跡、福田山遺跡、外久保遺跡、真室川町滝ノ沢山であるが、資料数はいずれも少ない。

(1) 福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡

福田山A遺跡は新庄市大字福田字福田山に所在する。福田山北部丘陵の中央やや東の裾部に位置する。また、仁間磯ノ沢B遺跡は福田山A遺跡の東方約650m新庄市大字仁間字磯ノ沢に所在する。両遺跡とも昭和55年に新庄福田工業団地の造成工事に伴い発掘調査行われた。

福田山A遺跡からは縄文時代早期の遺構は明確ではないが、貝殻腹縁圧痕文、貝殻条痕文のある早期後葉や末葉の土器が出土している。

仁間磯ノ沢B遺跡では部分的な検出にとどまっているが早期の竪穴住居跡が2棟と、福田山A遺跡と共通する早期の土器が出土している。

(2) 外久保遺跡

新庄市大字仁間字磯ノ沢に所在する。JR新庄駅の南西約3km、標高87m、新田川の扇状地上に立地する。主要地方道新庄次年子村山線の道路改良に伴い拡幅部分の東西6m、南北17mの範囲について、県教委が調査を行った。

縄文土器片の細片と石筥、搔器などが出土した。土器からの時期決定はできないが、搔器や石筥、削器は早期のものとみていいだろう。

(3) 滝ノ沢山遺跡

真室川町大字大沢字滝ノ沢山に所在し、JR真室川駅の北西約2km、真室川中学校の南200mの高位段丘上に立地する。標高は134mを測る。国道344号線の改良工事により、(財)山形県埋蔵文化財センターが平成20年度に発掘調査を行った。

この結果、縄文時代の土坑から早期の土器が出土した。貝殻腹縁圧痕文がされた早期中葉の田戸下層式の土器片が出土し、ピットから外面に竹管刺突文が施され、内面に条痕文をもつ早期末葉の茅山上層式の土器片が出土している。

2 縄文時代前期の遺跡

縄文時代前期の遺跡の調査例も多くはない。新庄市福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡、大蔵村上竹野遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡、最上町水上遺跡、金山町本町遺跡、で縄文時代の遺構や遺物が検出されたが、資料数は少ない。

(1) 福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡

福田山A遺跡で前期初頭の上川名2式に属する土器片が竪穴住居跡他から出土し、仁間磯ノ沢B遺跡からも出土している。

(2) 上竹野遺跡

大蔵村清水字上竹野に所在する。弥生時代の遺跡として古くから知られていた。国道458号線の道路改良事業に伴い、平成27・28年度に(公財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。遺跡で出土した最も古い時期の遺物は、縄文前期初頭の上川名Ⅱ式土器である。この時期の明確な遺構は調査区内では確認されておらず、周辺遺跡でも集落跡の存在は不明瞭である

(3) 太郎水野1遺跡

金山町大字下中田字太郎水野544-4他に所在する。下中田集落の南西に位置し、中田春木川の南の標高210~220mの洪積台地上に立地する。東北中央自動車道に組み入れられる主寝坂道路の建設に伴い平成16年に(財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。縄文時代前期中葉と、後期後葉、後期末から晩期の遺構や遺物が検出された。前期中葉の大木2 a 式の土坑3基、落ち込み3基、ピット3基と陥穴が検出された。

(4) 滝ノ沢山遺跡

早期の遺物が出土した滝ノ沢山遺跡で網目状撚糸文が施された前期前葉から中葉にかけての土器片と前期後葉大木4式に属する土器片が出土している。

(5) 本町遺跡

金山町大字金山字本町に所在する。金山川左岸の段丘上に立地する昭和55年に町立病院の建設に伴い町教育委員会が発掘調査を行った。遺跡は中期を中心とする集落跡であるが、前期の土器も出土した。細い粘土紐を幾何学上に貼付する前期後葉大木5式と半截竹管で文様を描く大木6式の土器が出土している。

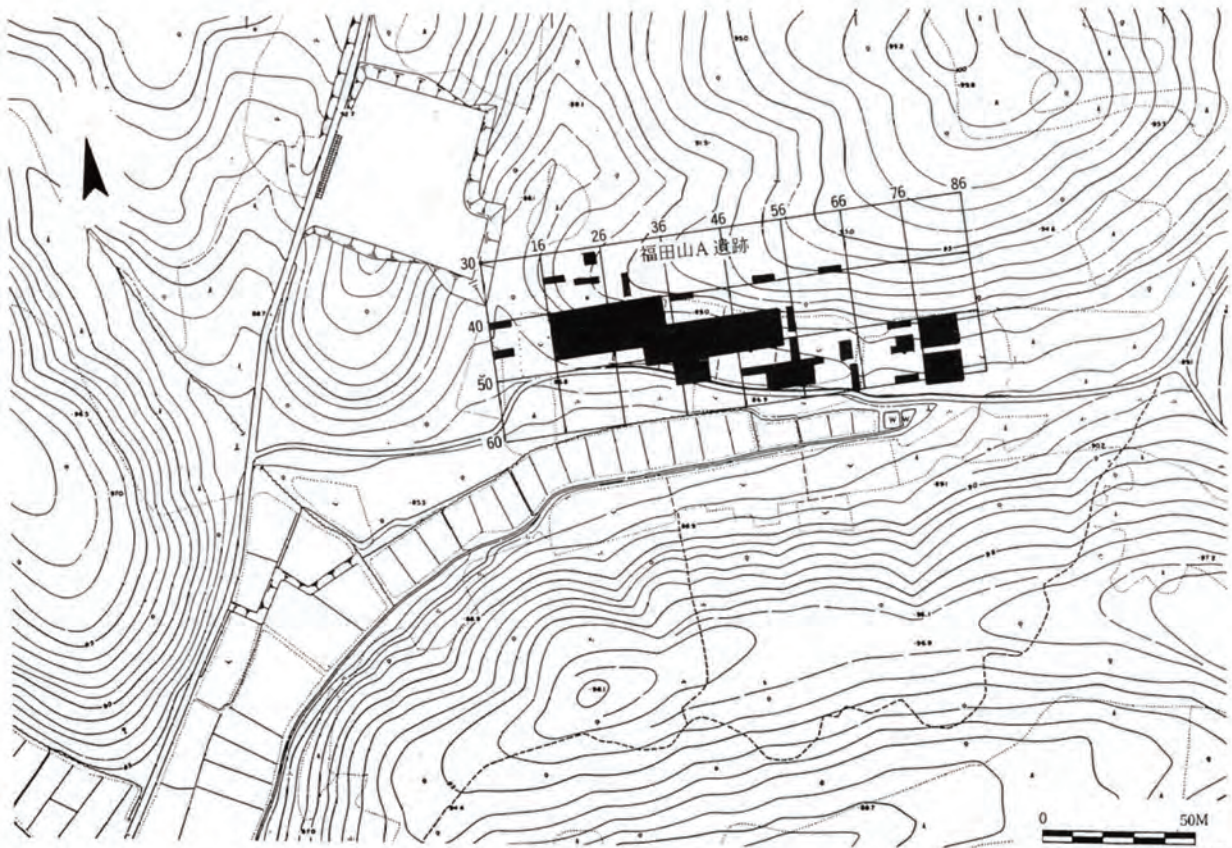
(6) 水上遺跡

最上町大字向町字向町に新庄北高等学校最上校の敷地内に所在する。絹出川右岸の上段及び中段の段丘上に立地する。クランド造成により昭和51年に、また、校舎建築に伴い昭和55年に県教委が発掘調査を行った。この2次調査時に半截竹管により山形沈線文などの特徴を持つ大木6式土器が出土している。

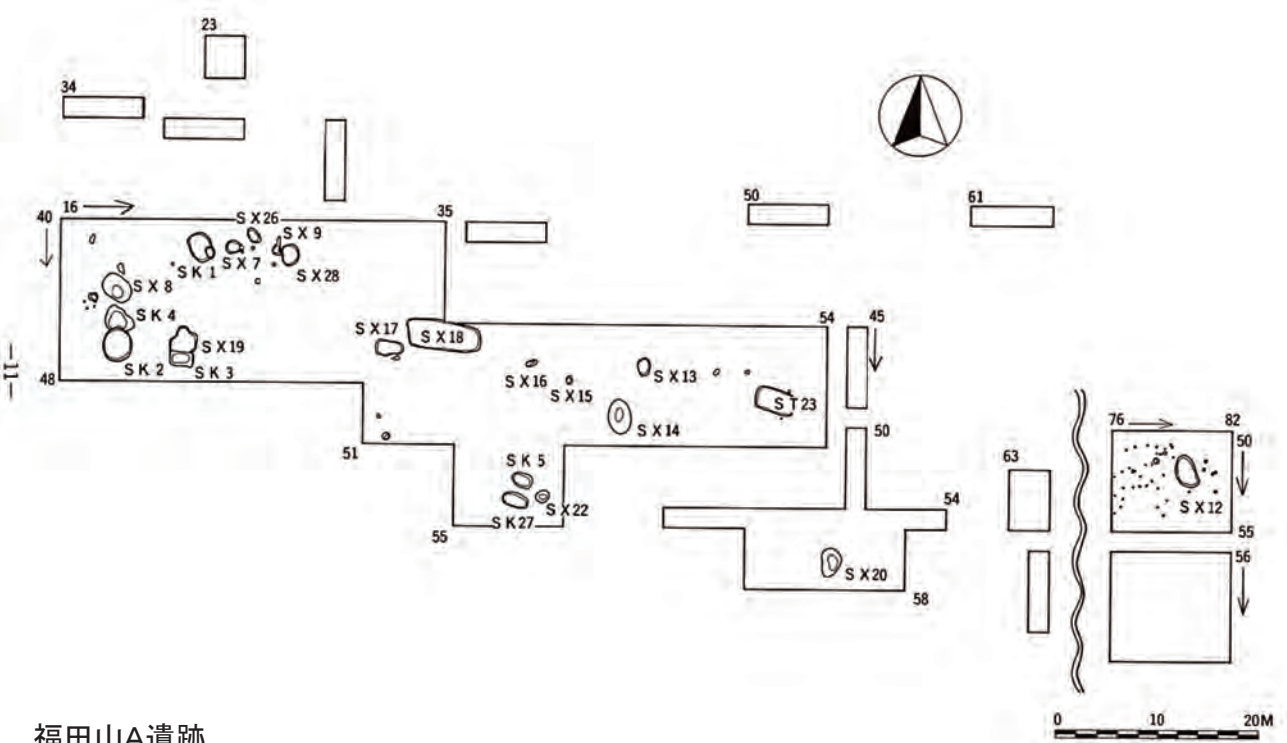


福田山周辺の遺跡分布図

福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡

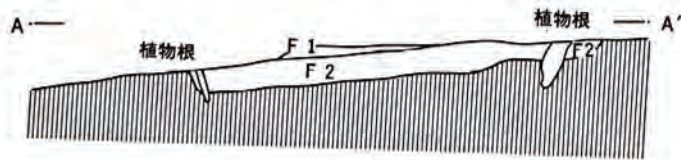
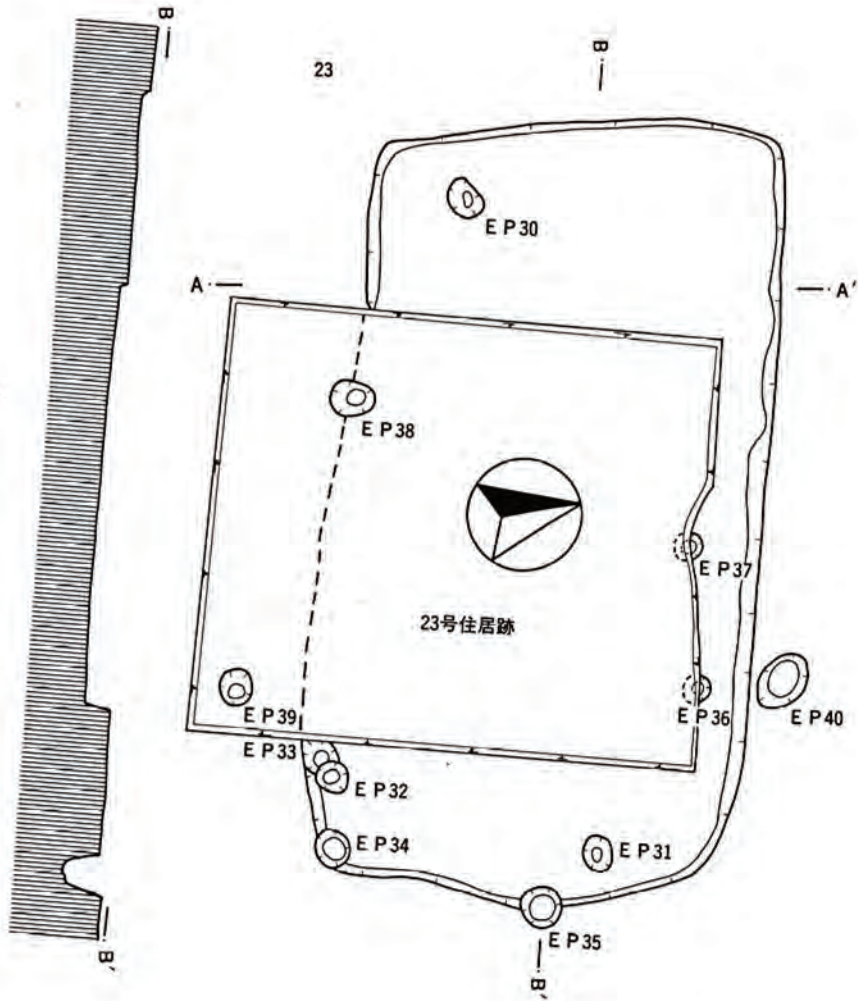


福田山A遺跡全体図



福田山A遺跡

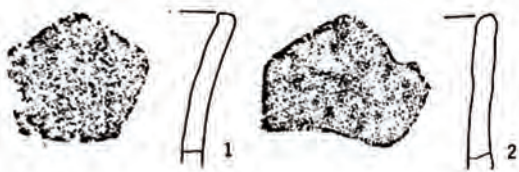
福田山A遺跡遺構配置図



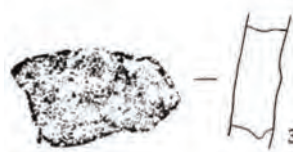
土層註記
 F 1 褐色微砂
 F 2 暗褐色微砂
 第IV層 黄褐色粘土



23号住居跡平面図

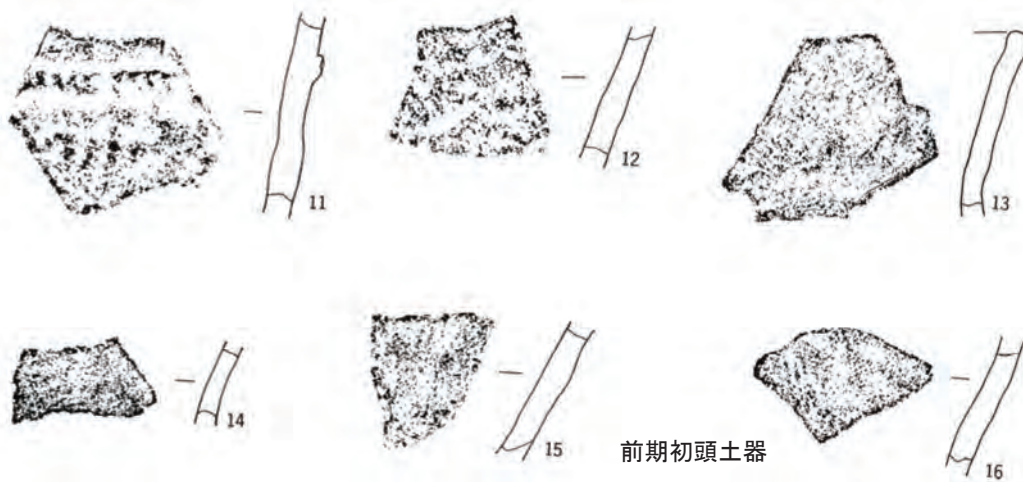


貝殼腹縁圧痕文土器



貝殼条痕文土器

福田山A遺跡

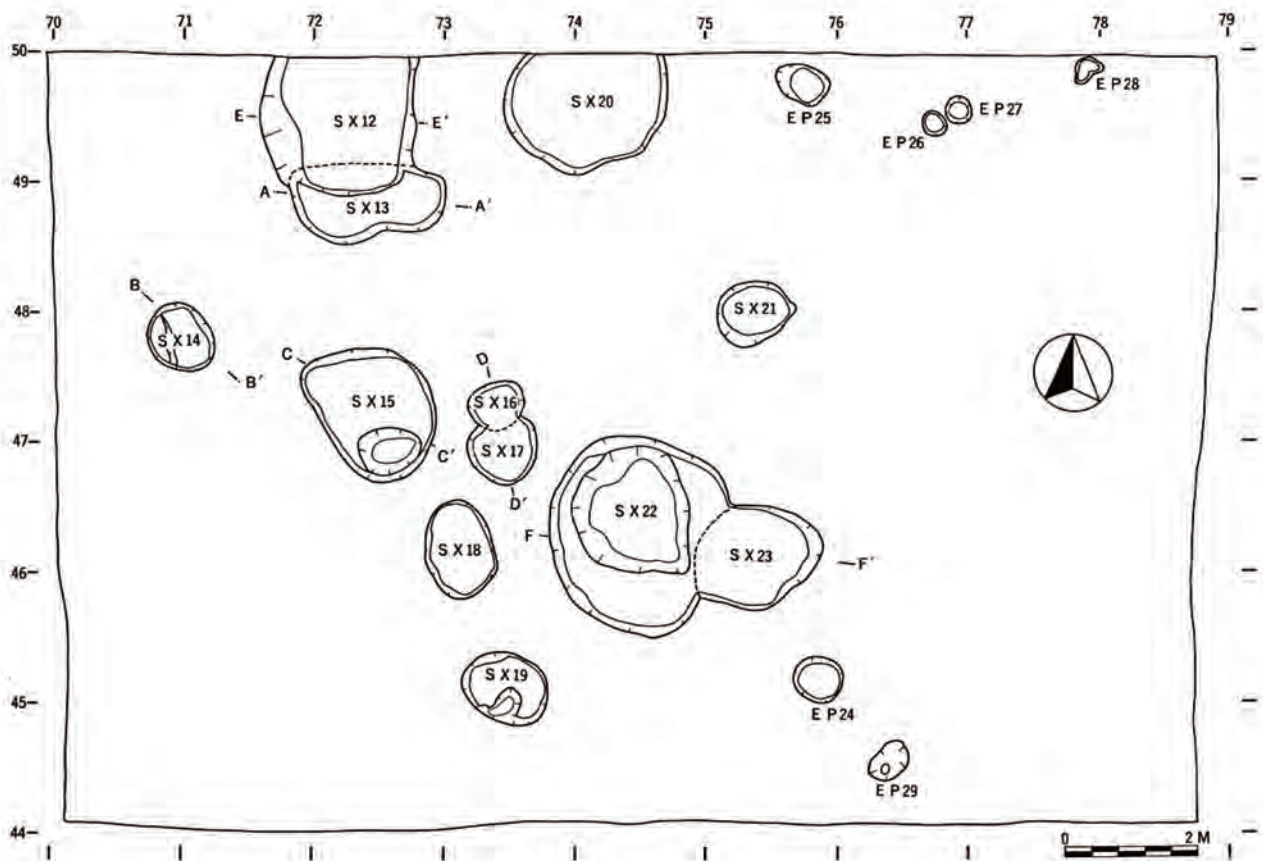


前期初頭土器

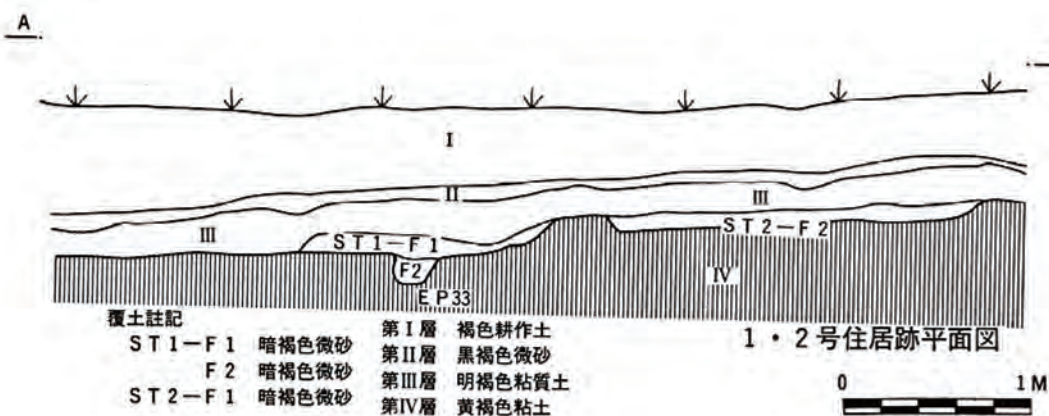
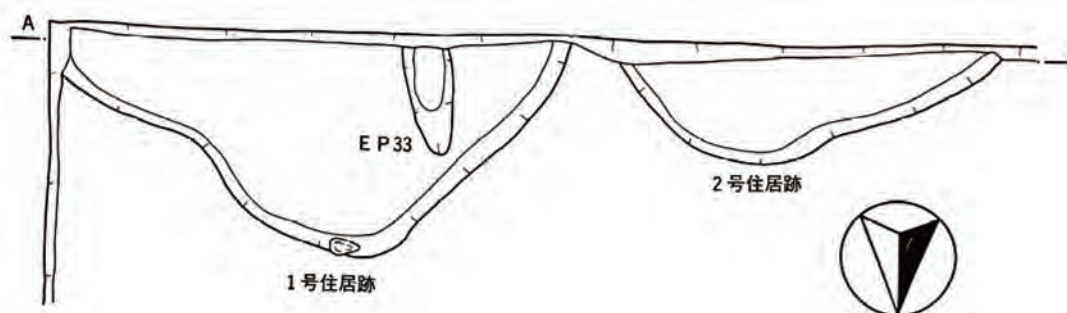
福田山A遺跡



仁間磯ノ沢B遺跡



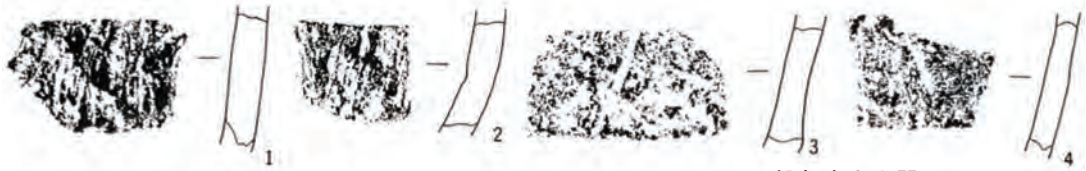
東区遺構配置図



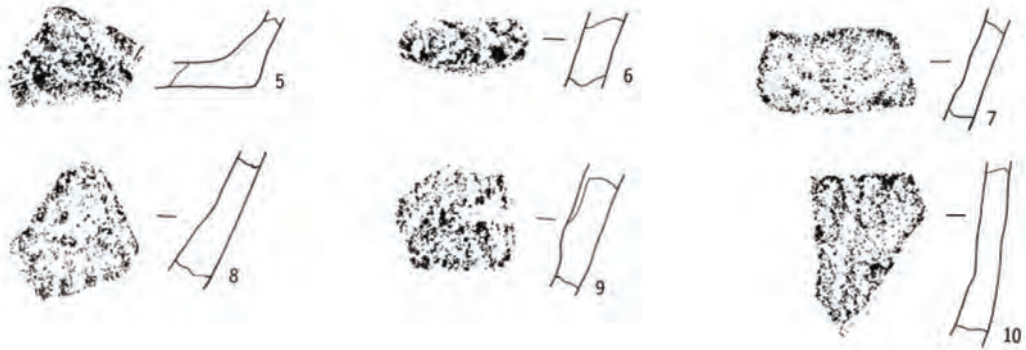
仁間磯ノ沢B遺跡



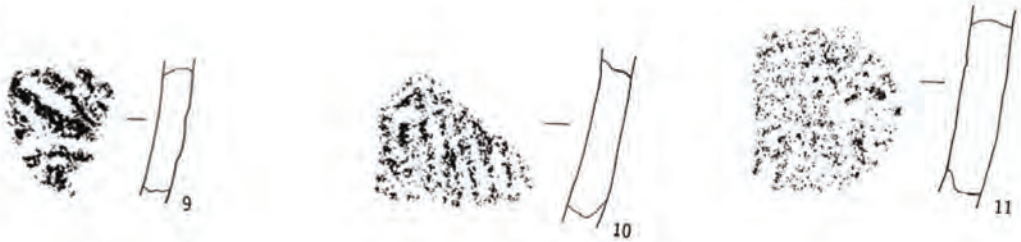
沈線+貝殻腹縁圧痕文土器



貝殻条痕文土器

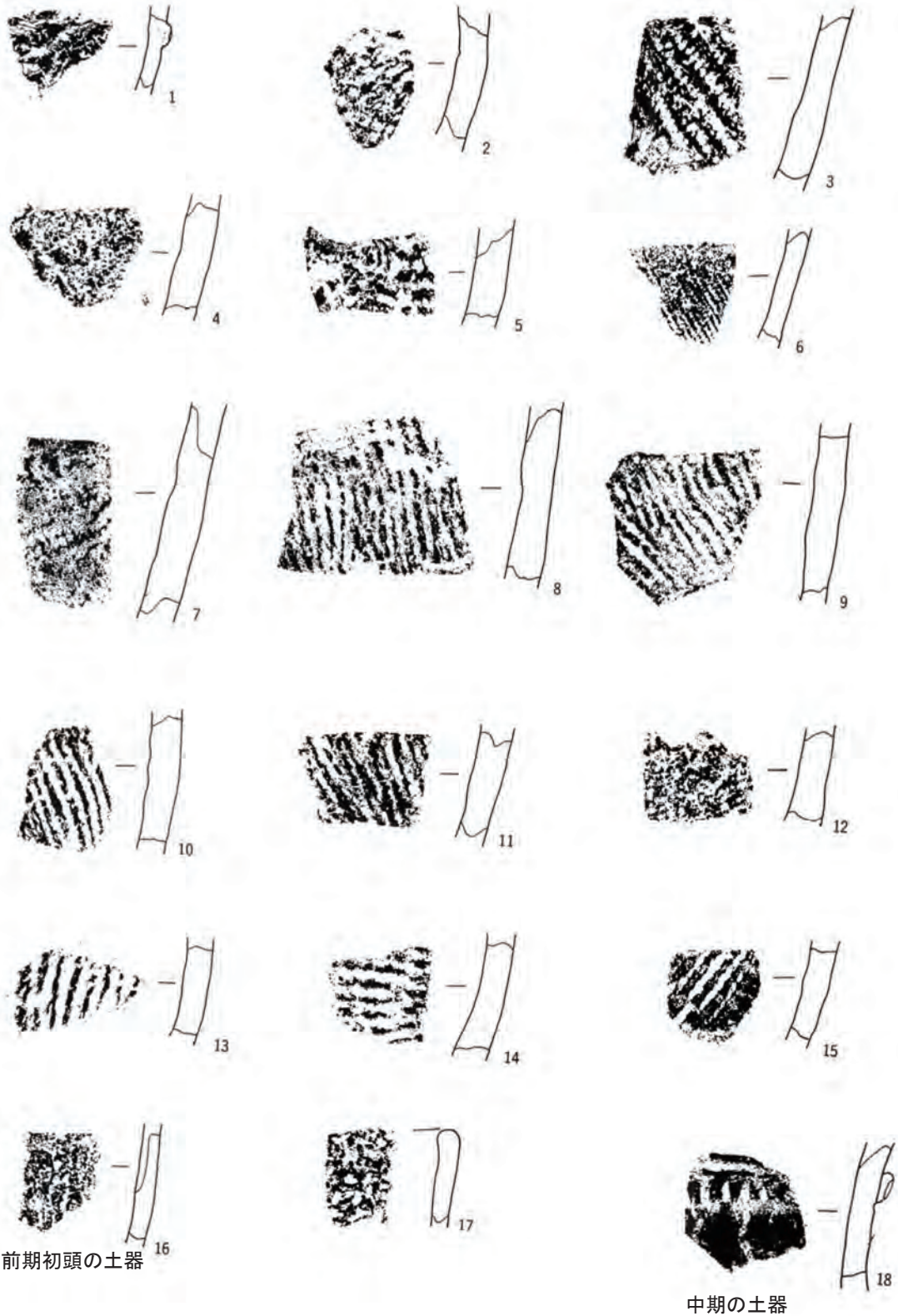


早期末葉の土器

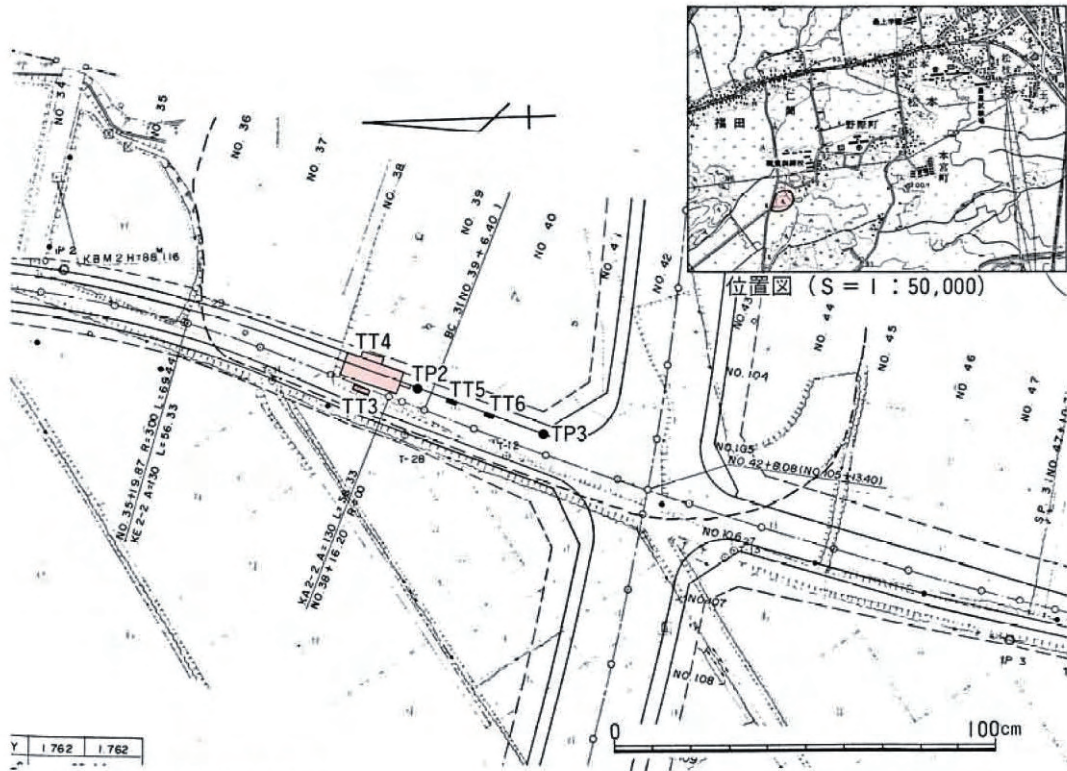


早期末葉の土器

仁間磯ノ沢B遺跡

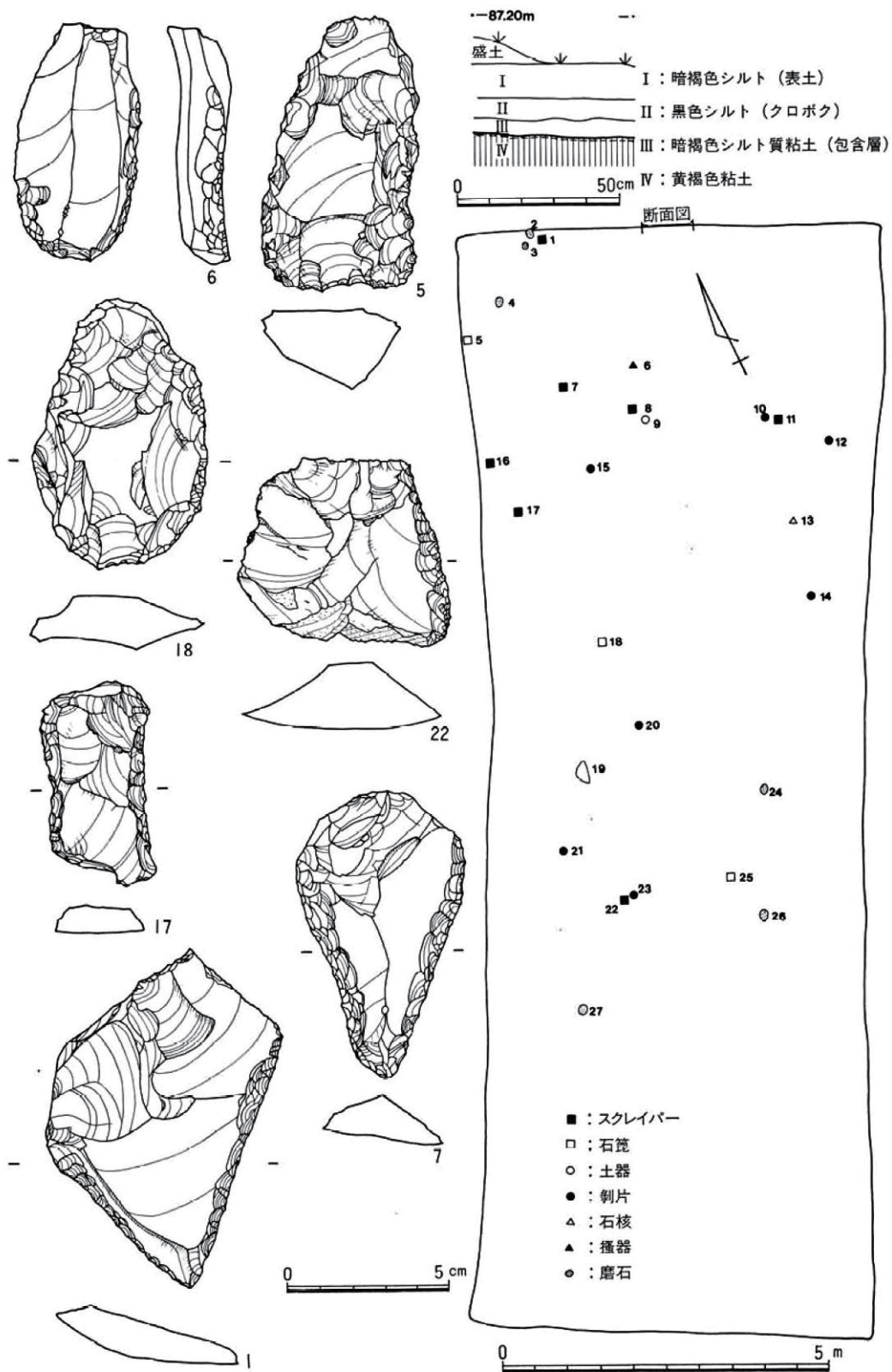


仁間磯ノ沢B遺跡



外久保遺跡概要図

外久保遺跡

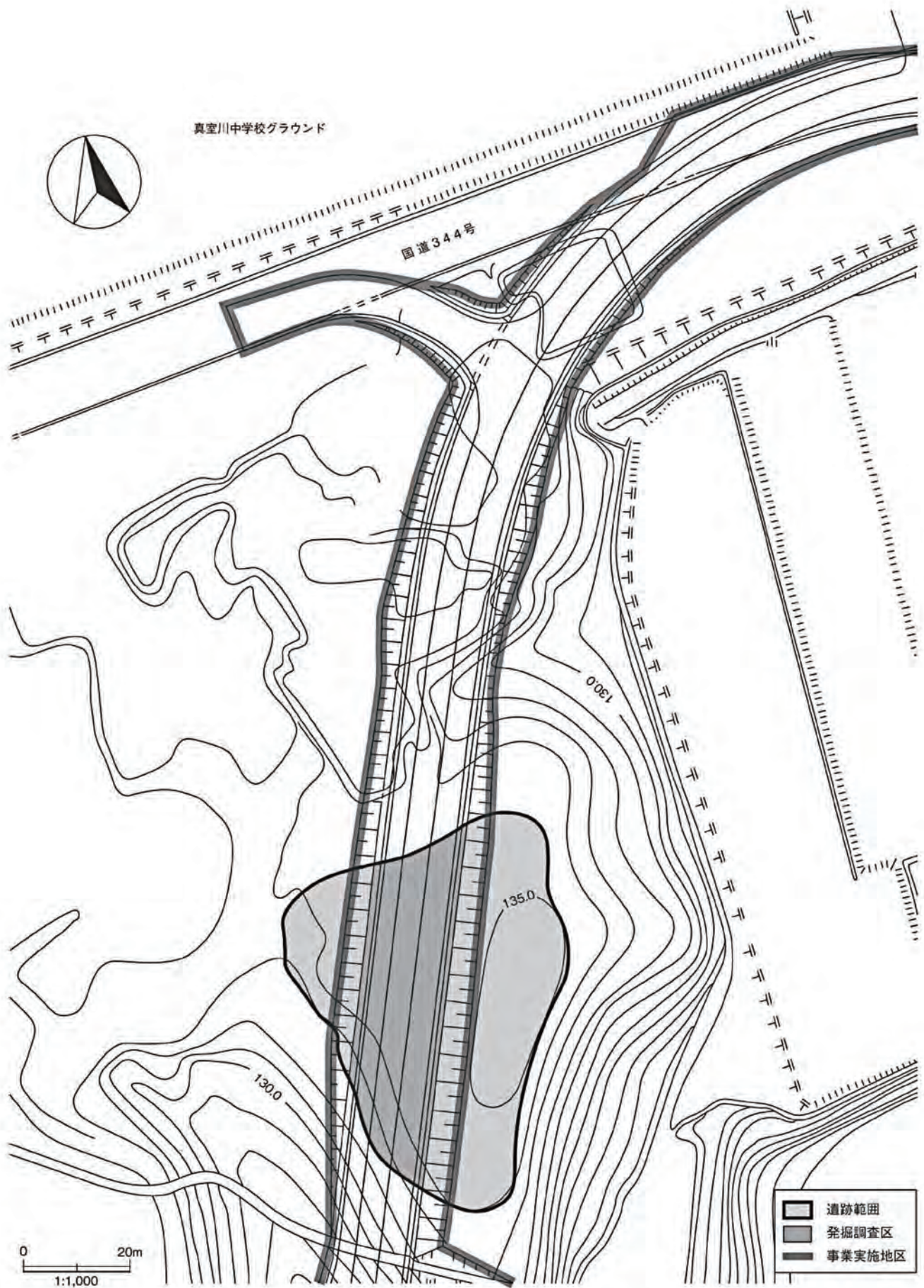


外久保遺跡遺物分布図・石器実測図

外久保遺跡

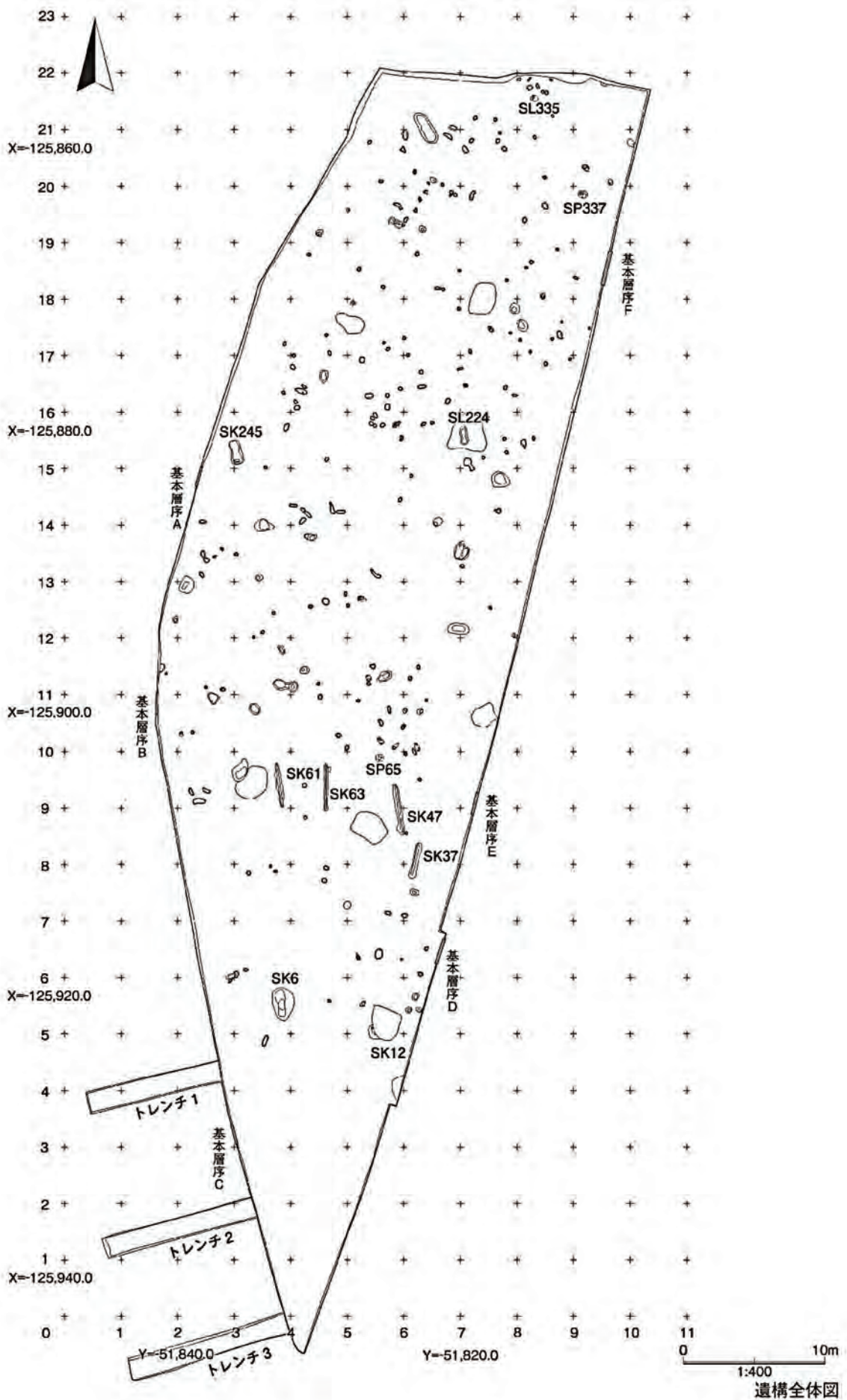


遺跡位置図(国土地理院発行5万分の1地形図「大沢」・「羽前金山」を使用)

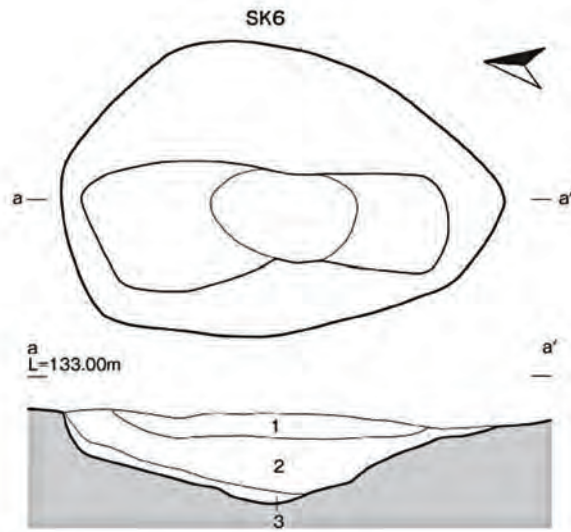


滝ノ沢山遺跡調査区概要図 (S=1:1,000) (一般国道344号道路改良工事平面図を使用)

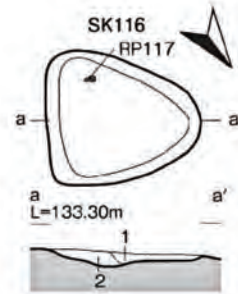
滝ノ沢山遺跡



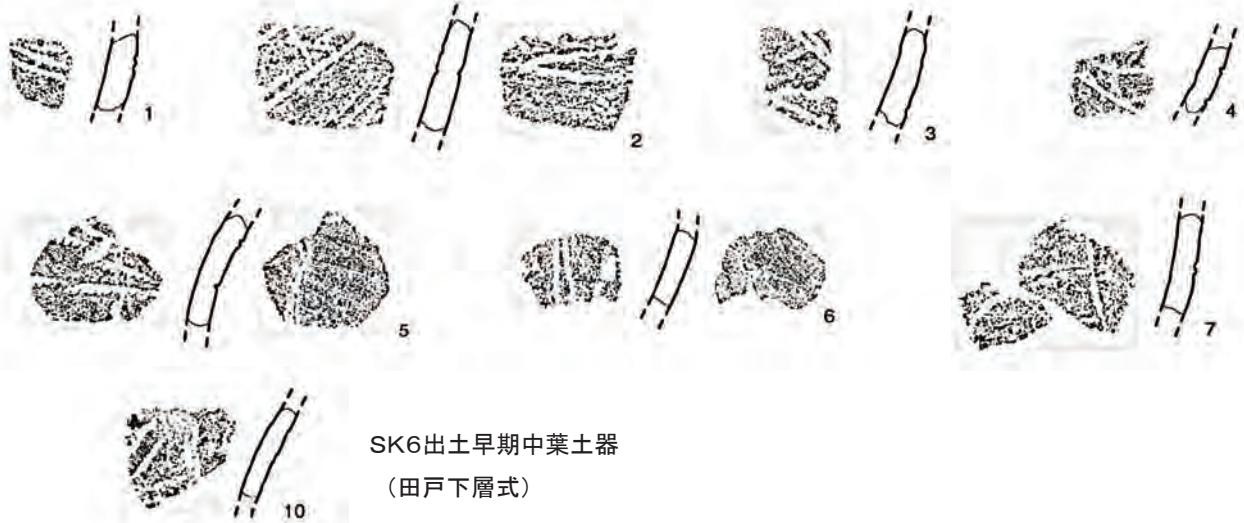
滝ノ沢山遺跡



早期の土坑SK6



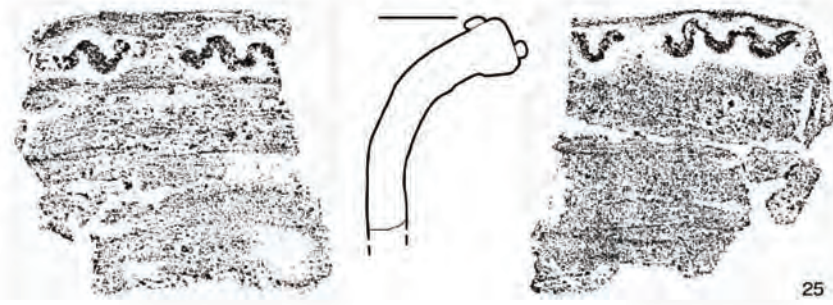
早期の土坑SK116



SK6出土早期中葉土器
(田戸下層式)



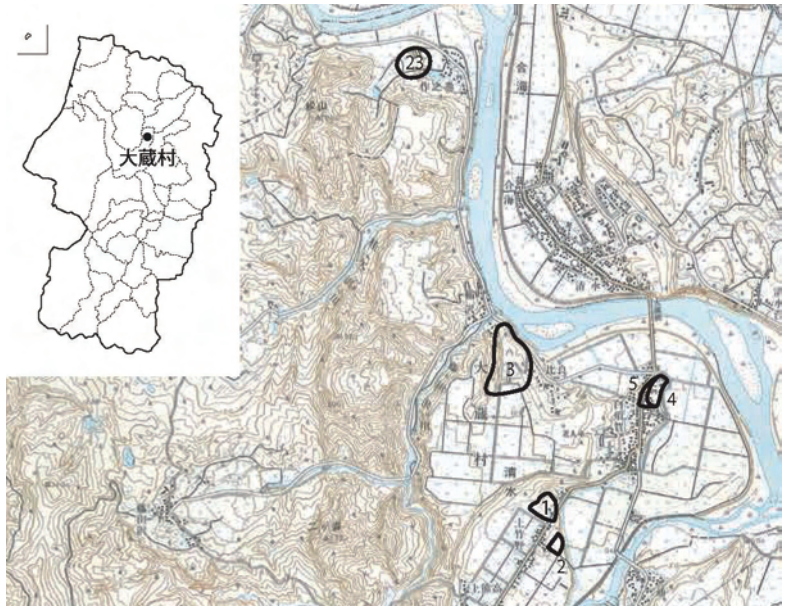
SP 121 他出土早期末葉
土器 (茅山上層式)



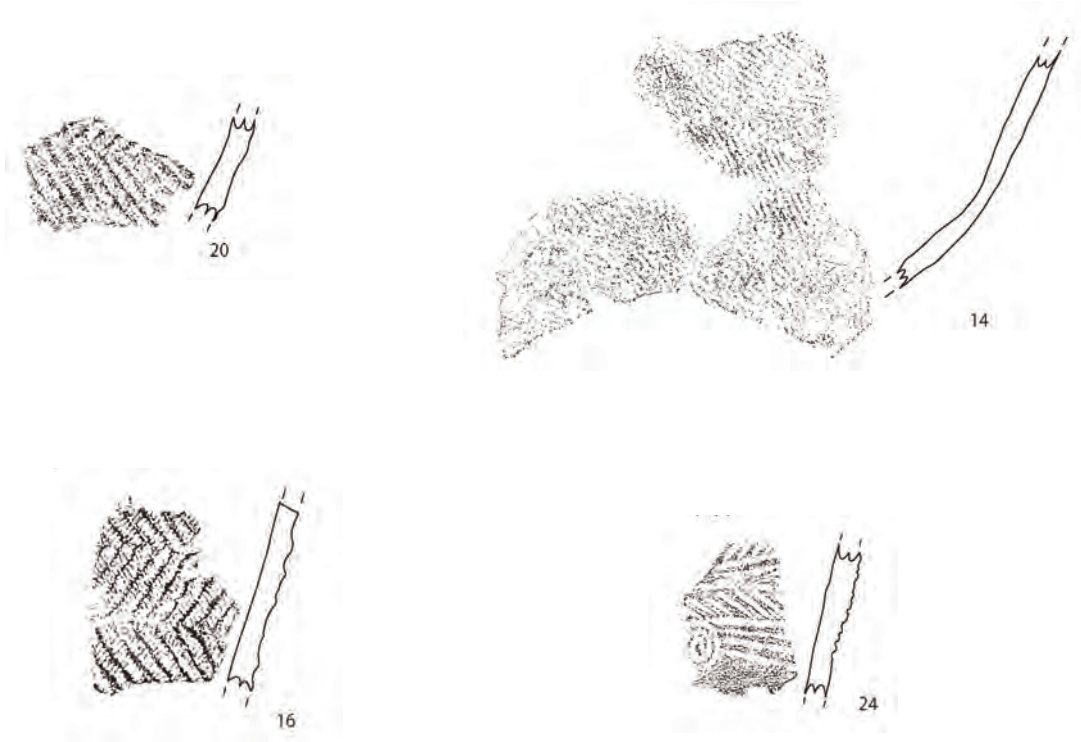
25 前期大木 4 式土器



前期前葉の土器



遺跡位置図



前期の土器

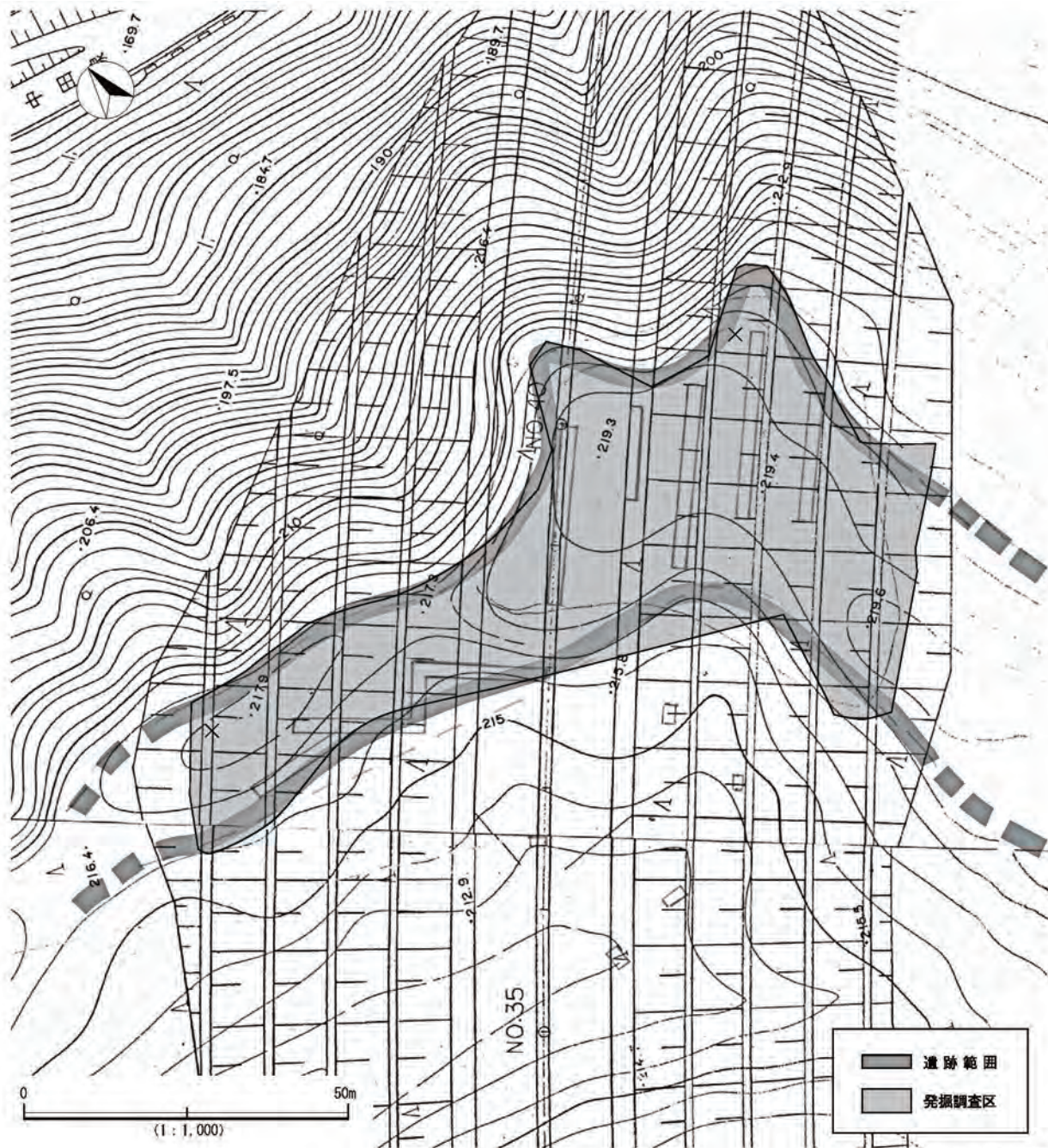
上竹野遺跡



番号	遺跡名	種別	時代
1	地坂台遺跡	集落跡	縄文
2	下中田遺跡	集落跡	縄文
3	太郎水野1遺跡	集落跡	縄文
4	太郎水野2遺跡	集落跡	旧石器・縄文
5	高堂館	城館跡	中世
6	板ヶ沢口遺跡	集落跡	縄文
7	小蟬遺跡	集落跡	縄文
8	吉次館	城館跡	中世
9	黒岩館	城館跡	中世
10	羽場遺跡	集落跡	縄文

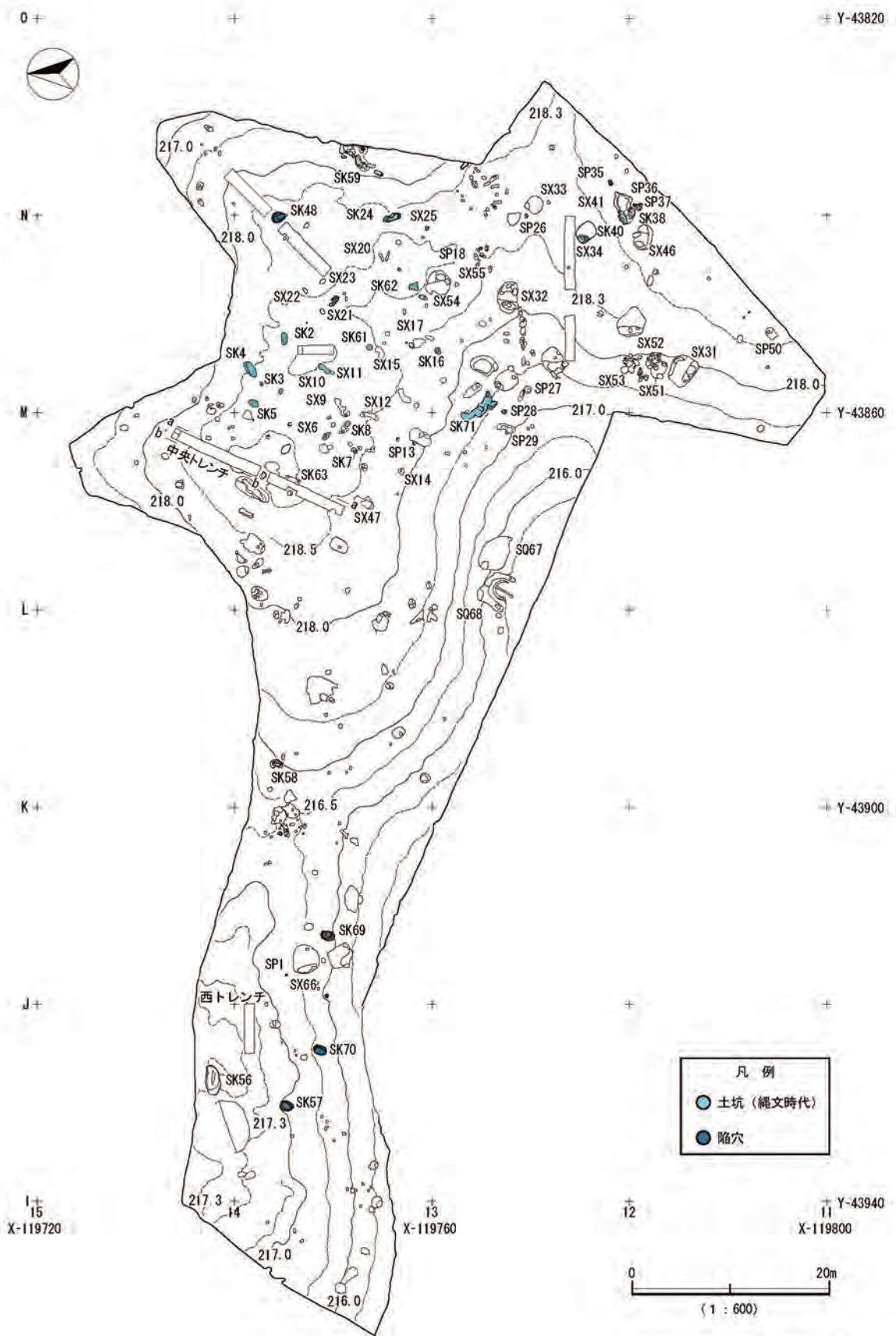
遺跡位置図（国土地理院発行2万5千分の1地形図「及位」・「羽前金山」を使用）

太郎水野1遺跡位置図



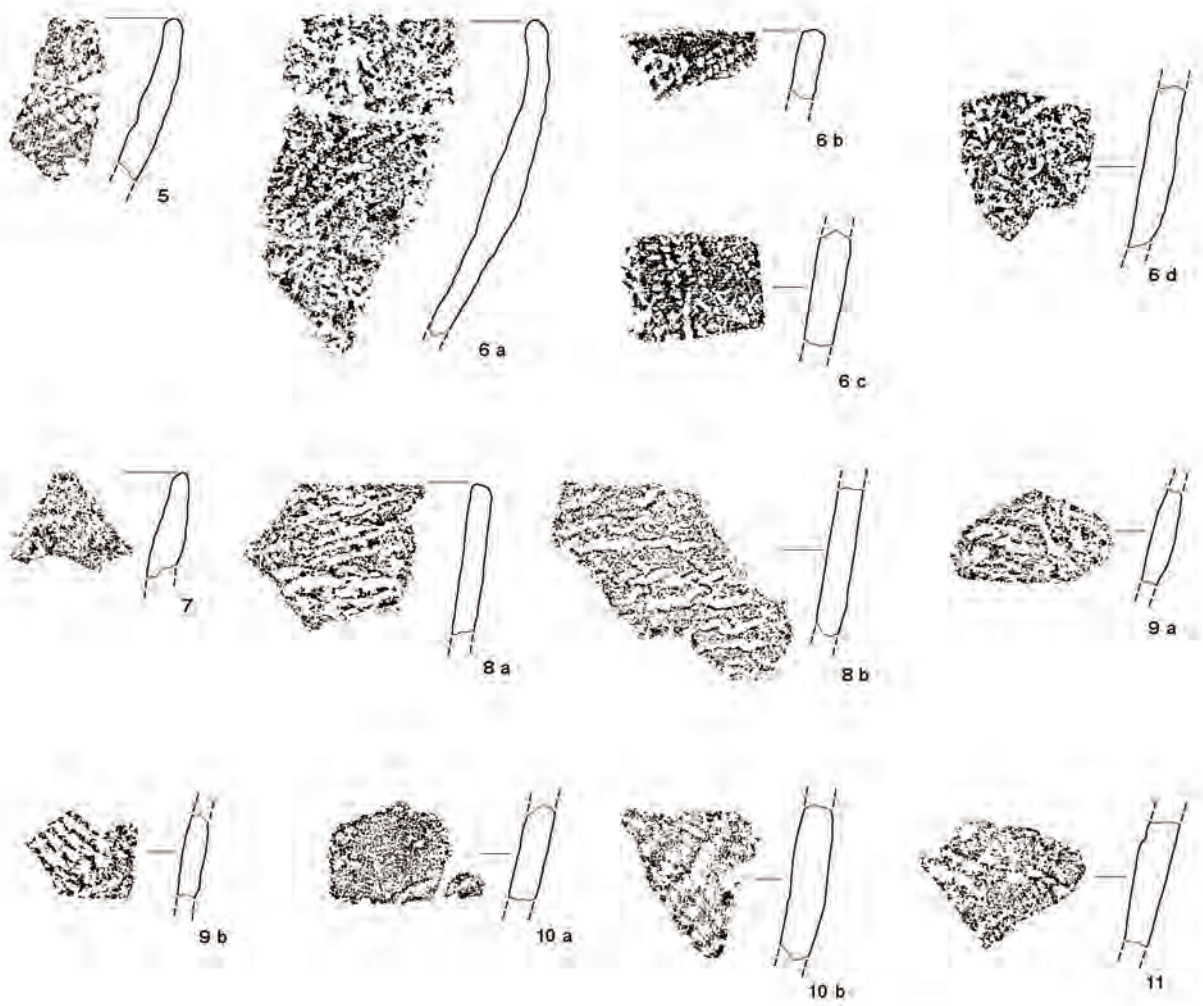
太郎水野1遺跡調査区概要図

太郎水野1遺跡

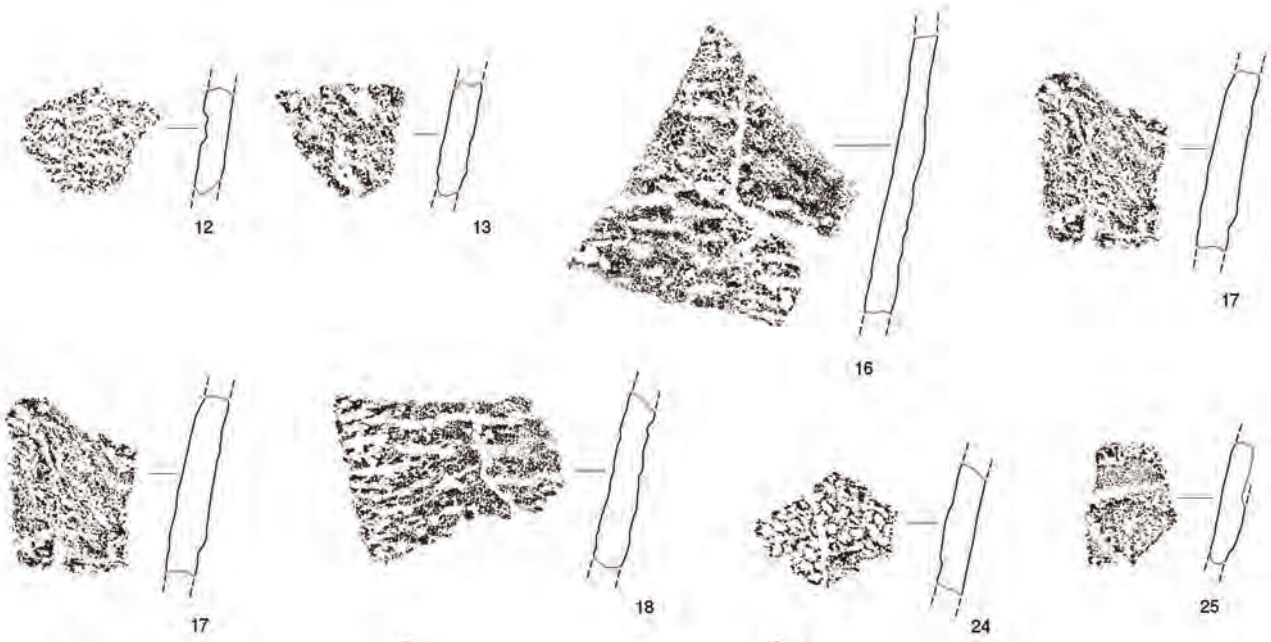
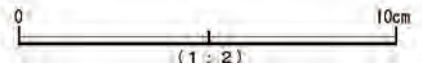


太郎水野1遺跡遺構配置図

太郎水野1遺跡

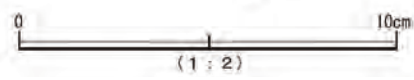


前期中葉大木2a式土器



前期中葉大木2a式土器

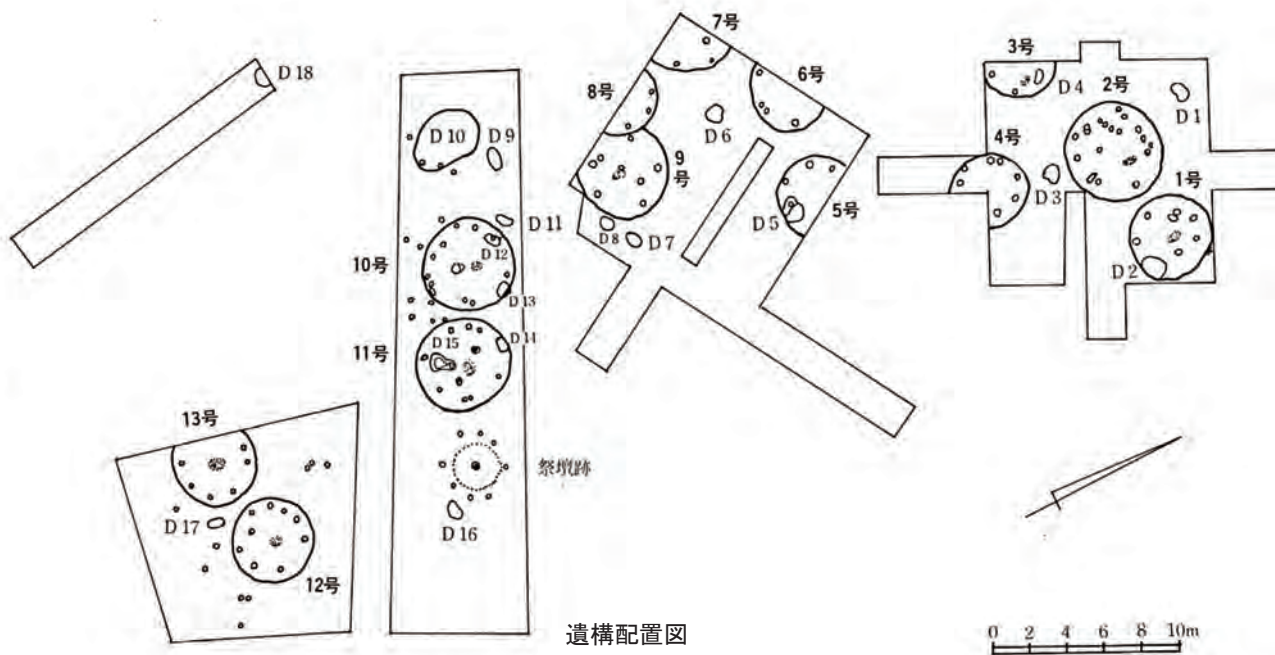
太郎水野1遺跡



- 896 羽 場
- 897 三代 湖
- 898 本 町
- 906 安 沢
- 907 橋 台山
- 908 明安小前
- 909 下野明
- 910 藁坊野
- 911 朴 山
- 1001 平 岡

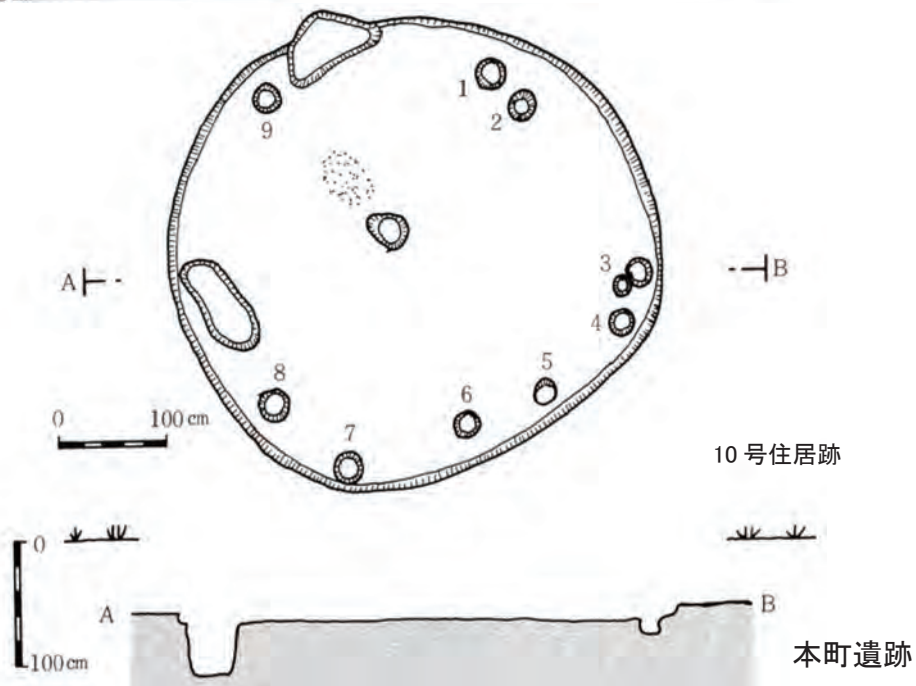
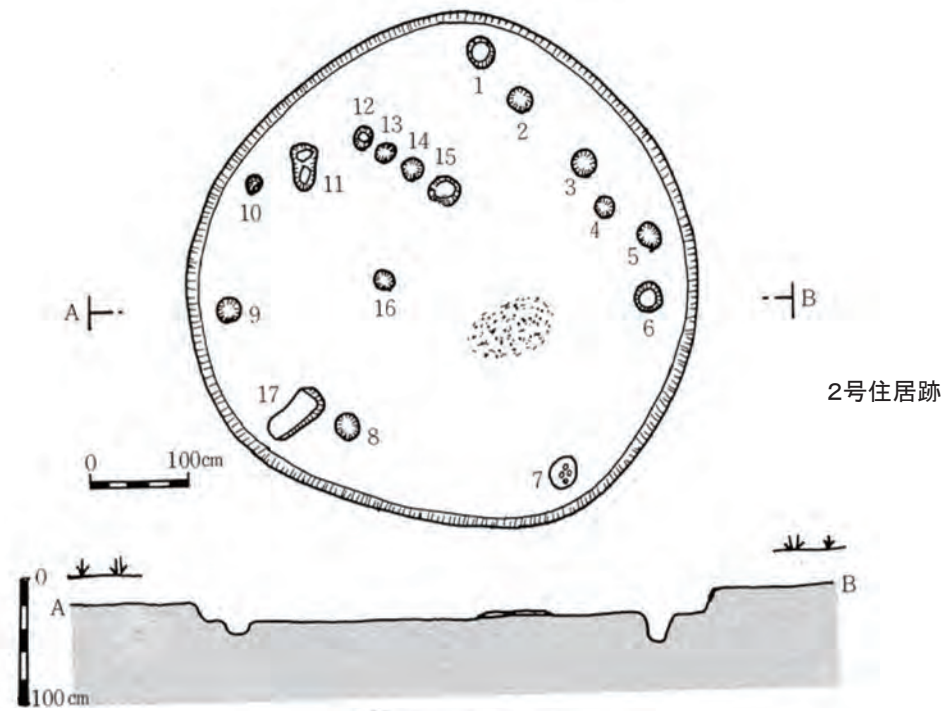
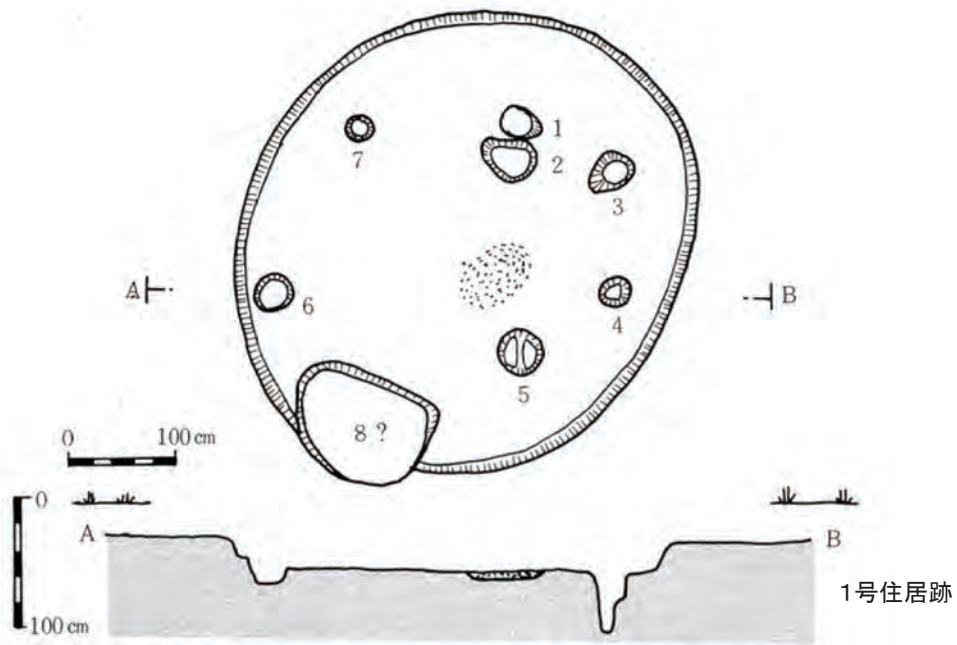


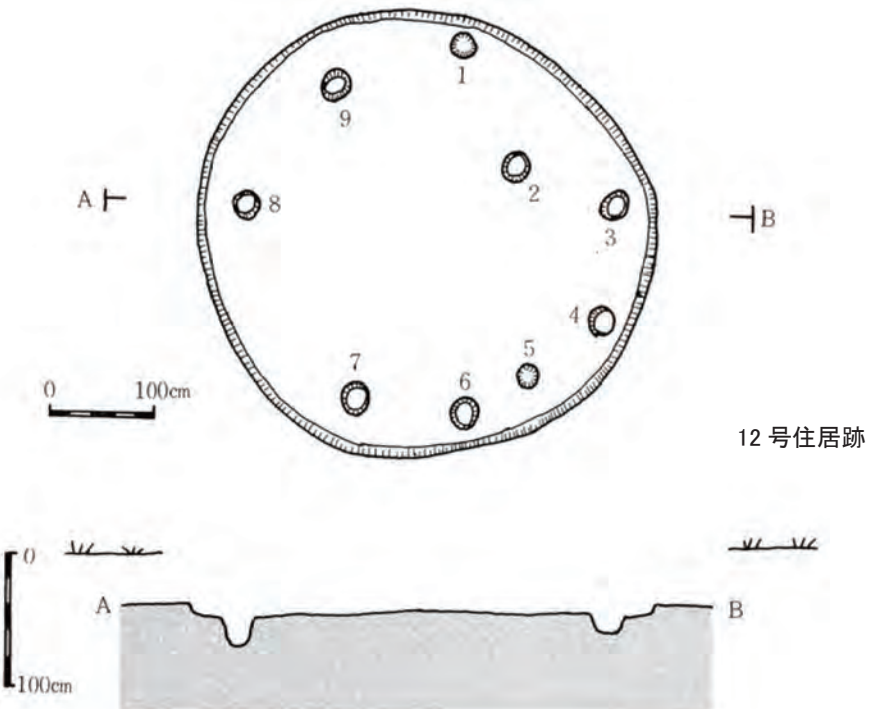
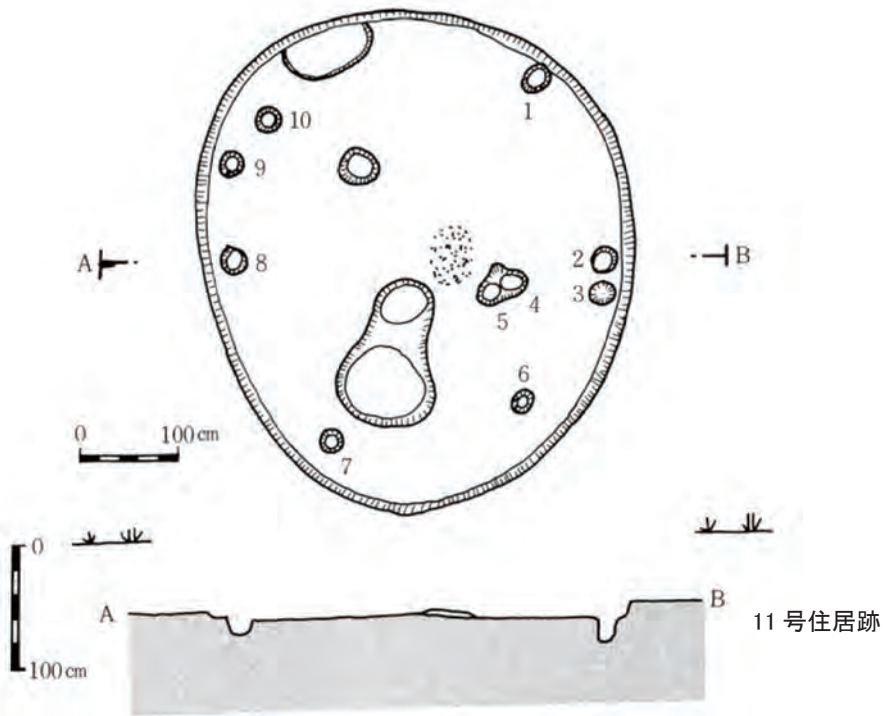
遺跡の位置と分布図



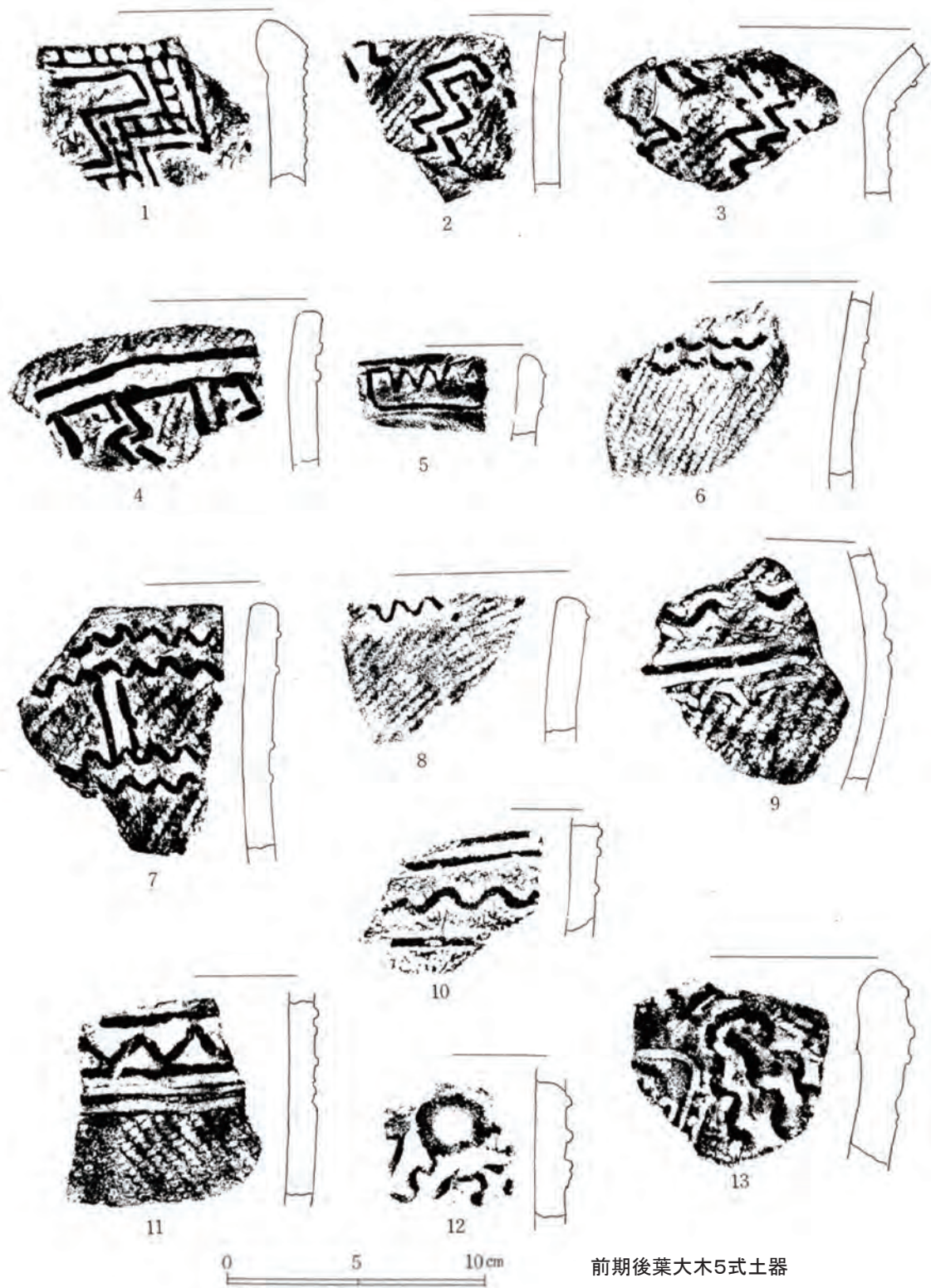
遺構配置図

本町遺跡





本町遺跡



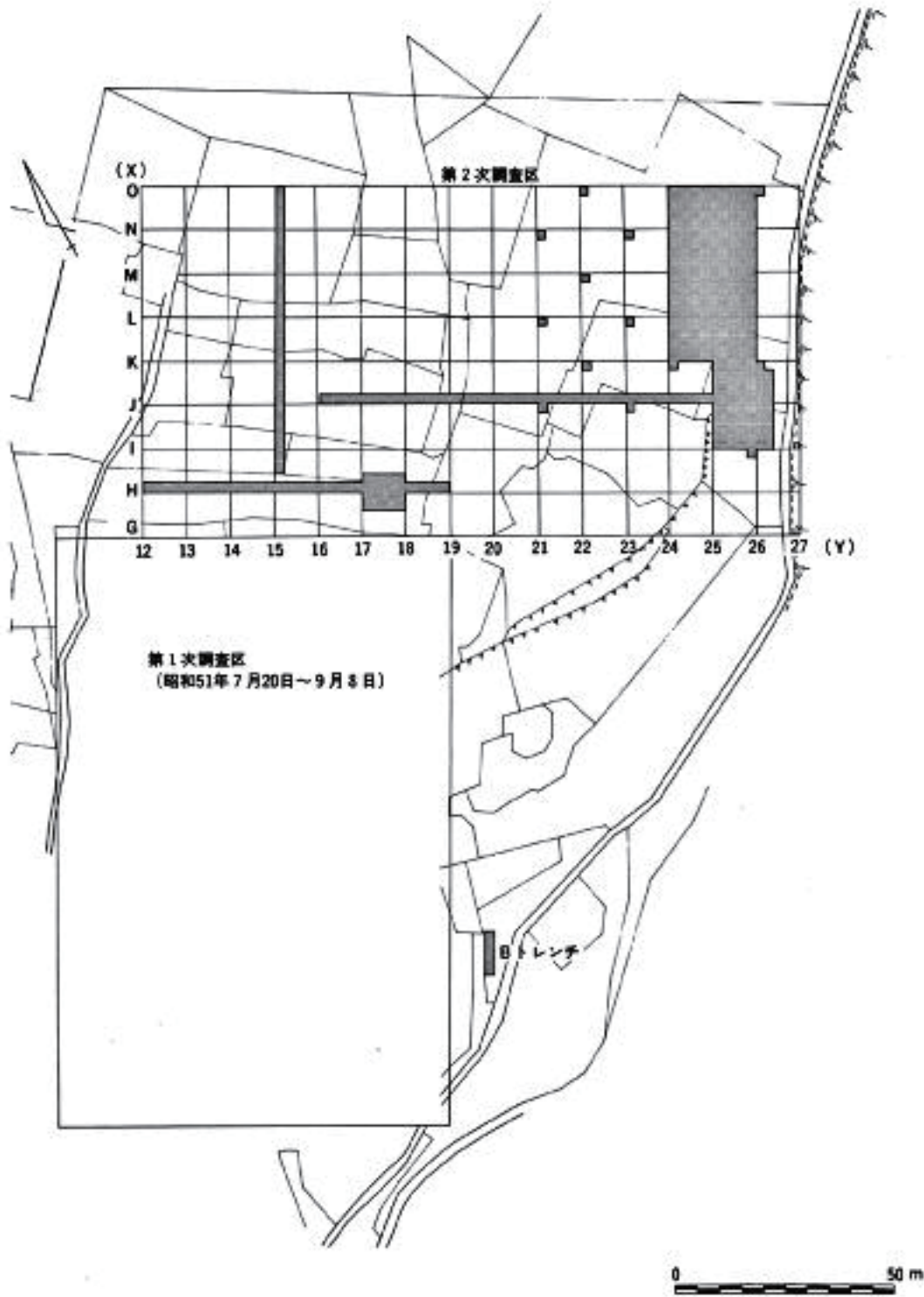
前期後葉大木5式土器

本町遺跡



前期後葉大木5・6式土器

本町遺跡



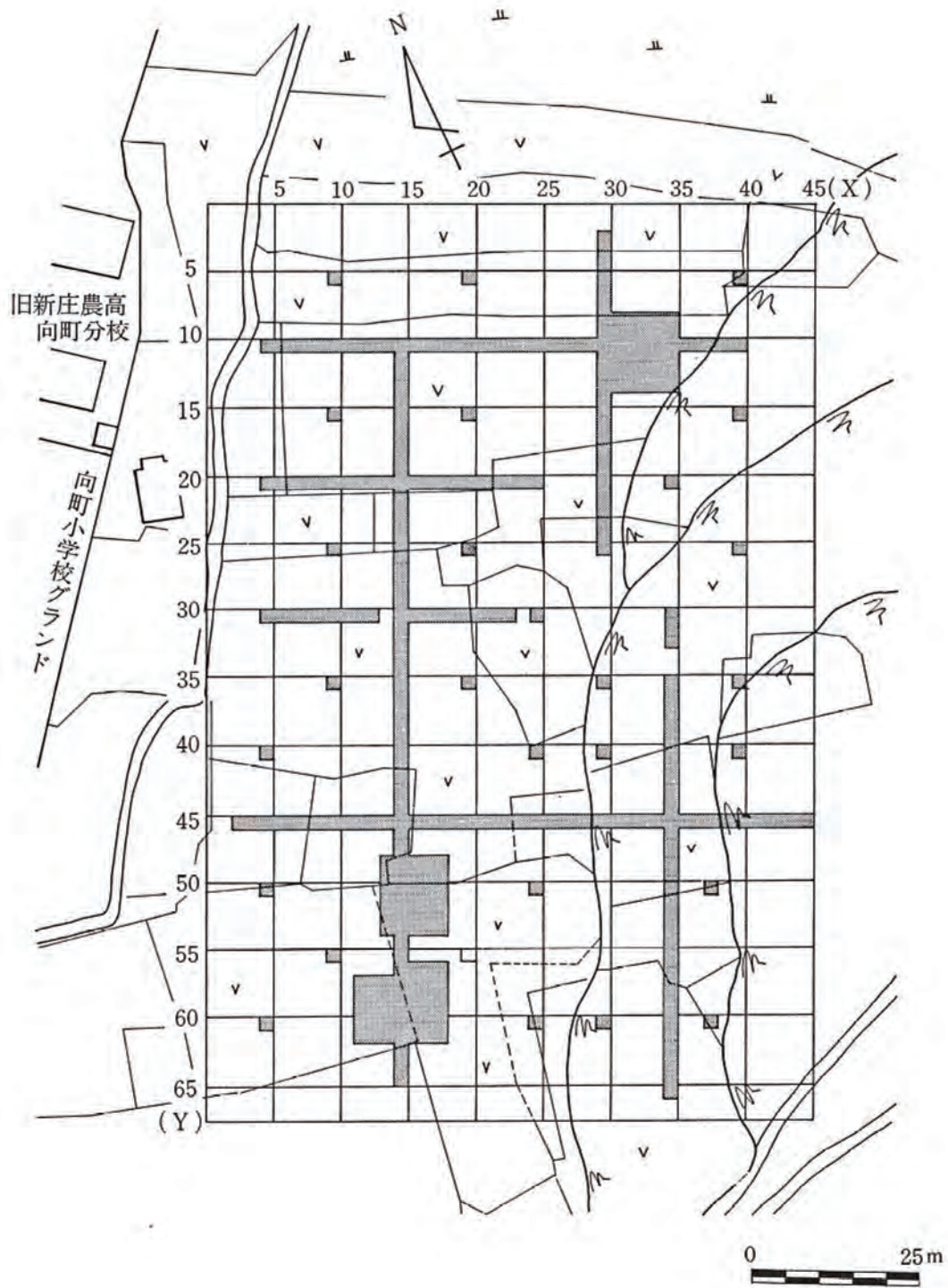
2次遺跡全体図

水上遺跡



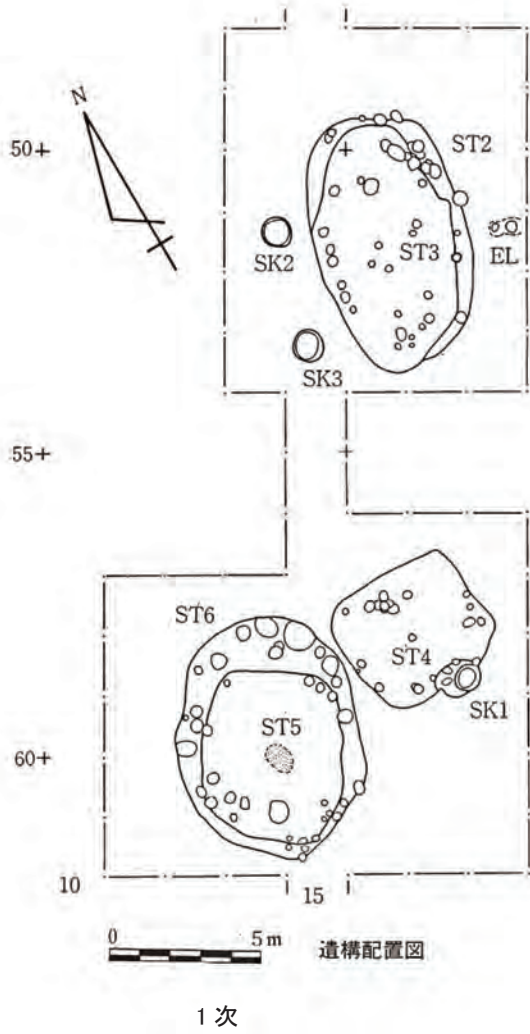
遺跡位置・分布図

水上遺跡

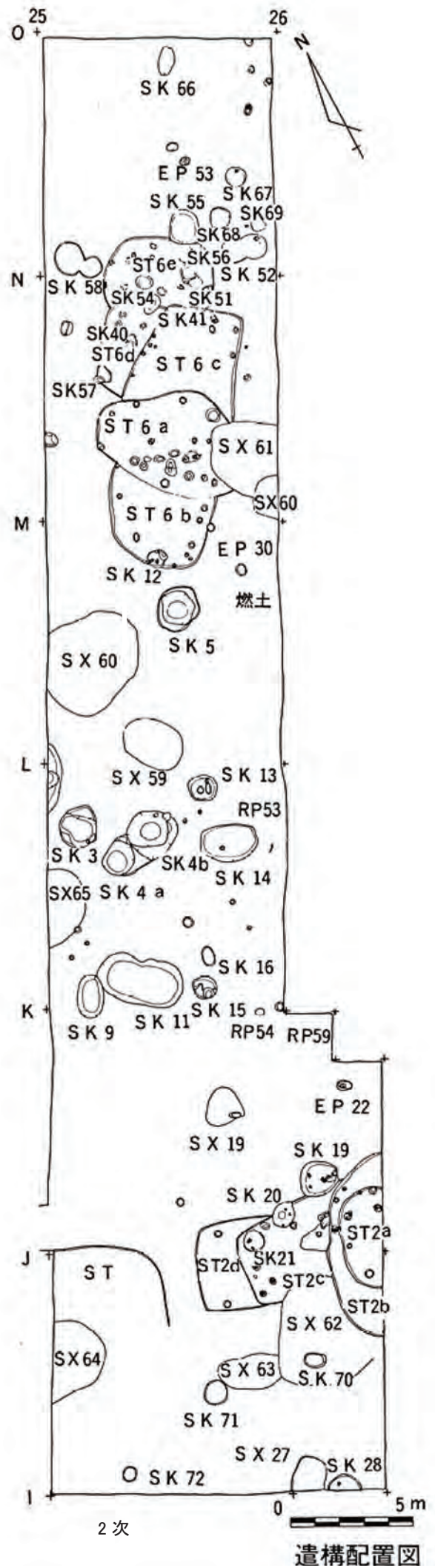


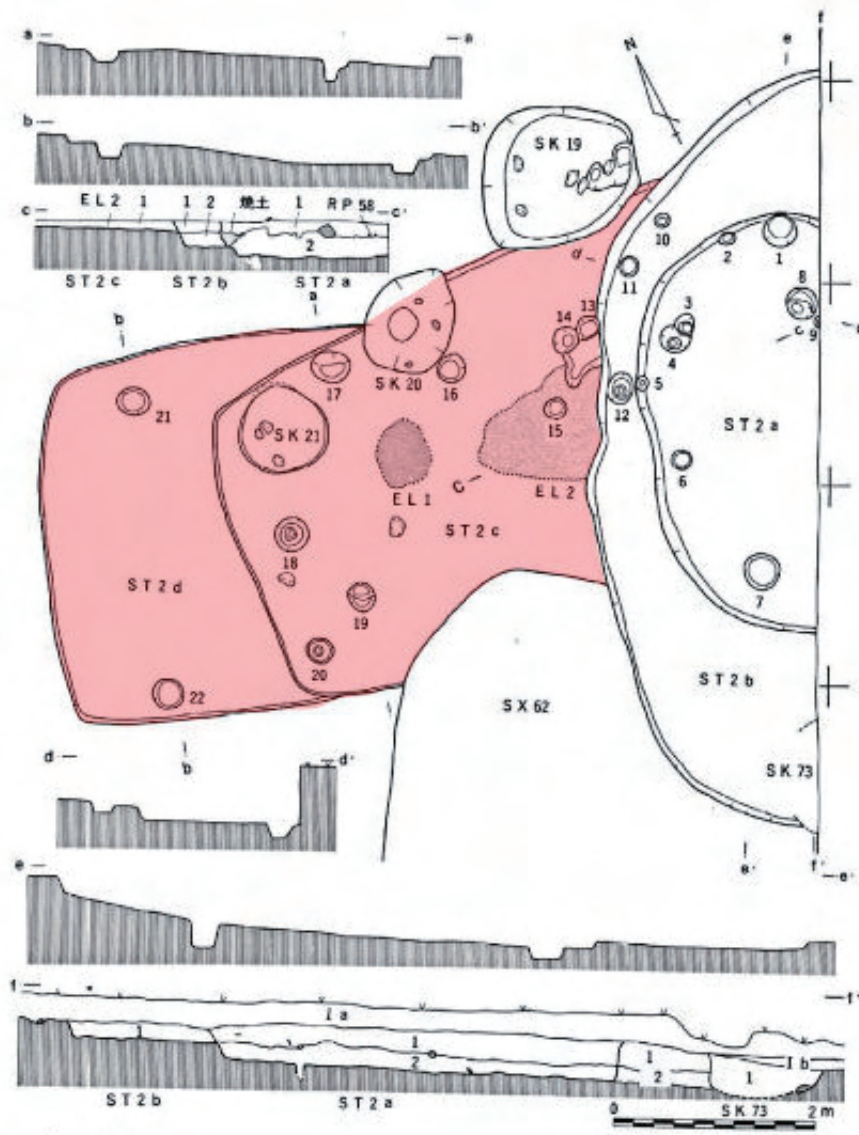
1次 遺跡全体図

水上遺跡



水上遺跡





- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| (ST 2 a 覆土) | (ST 2 c 覆土) |
| 1 黒色土一粒子の細い砂質土で、遺物・炭化粒子を少量に含む。 | 1 暗褐色砂質土一均質で、遺物・炭化物を含む。 |
| 2 暗灰黄色土一やや粘質で、遺物・炭化粒子を含む。 | (SK 73 覆土) |
| (TS 2 b 覆土) | 1 黒色土一砂質土で、遺物・炭化物を少量含む。 |
| 1 暗黄褐色土一やや粘質で、若干の遺物・炭化物を含む。 | |
| 2 暗褐色砂質土一均質で、若干の炭化物を含むが遺物の混入はない。 | |

前期末の住居跡



前期末大木 6 式土器

水上遺跡

2022. 9. 25

第22期考古学セミナー

最上地域の縄文時代 早期・前期の遺構と遺物

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
館長 渋谷 孝雄

縄文時代早期の遺跡

- 縄文時代早期の遺跡は多くはない。
- 真室川町滝ノ沢山遺跡、新庄市福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡、外久保遺跡であるが、資料数はいずれも少ない。

真室川町滝ノ沢山遺跡

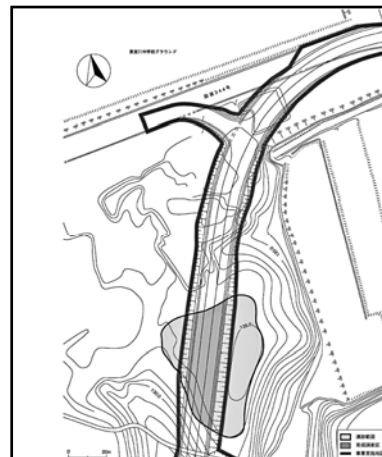
- 真室川町大字大沢字滝ノ沢山に所在し、JR真室川駅の北西約2km、真室川中学校の南200mの高位段丘上に立地する。標高は134mを測る。国道344号線の改良工事により、(財)山形県埋蔵文化財センターが平成20年度に発掘調査を行った。

真室川町滝ノ沢山遺跡

- この結果、縄文時代の土坑から早期の土器が出土した。貝殻腹縁圧痕文が施された早期中葉の田戸下層式の土器片が出土し、ピットから外面に竹管刺突文が施され、内面に条痕文をもつ早期末葉の茅山上層式の土器片が出土している。

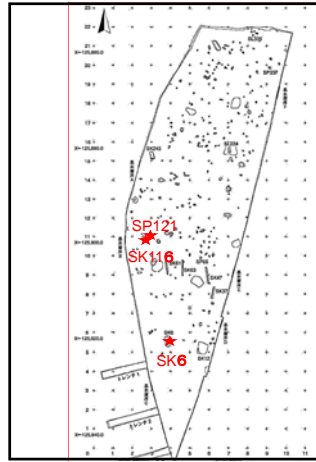


滝ノ沢山遺跡位置図



滝ノ沢山遺跡の調査区

滝ノ沢山遺跡調査前全景北から



滝ノ沢山遺跡の早期の遺構

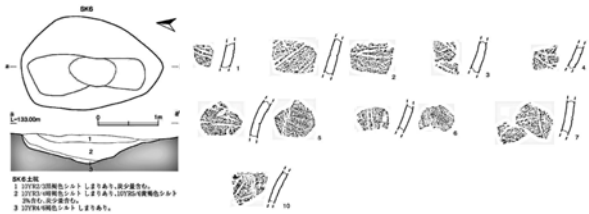
滝ノ沢山遺跡調査区北部(南から)



滝ノ沢山遺跡調査区全景(北から)



早期の土坑SK6と早期中葉の土器
(田戸下層式)



調査方法
1. 2017年度調査結果から、土器の分布を調査。
2. 2018年度調査結果から、土器の分布を調査。
3. 2019年度調査結果から、土器の分布を調査。

滝ノ沢山遺跡SK6土坑

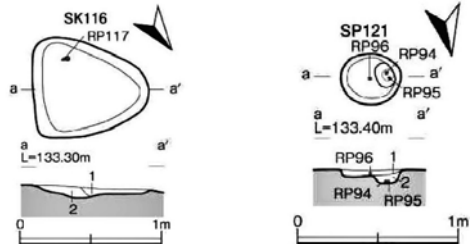


土層断面



完掘

滝ノ沢山遺跡早期の遺構



SK116土坑

- 1 10YR4/4褐色シルト
10YR5/6黄褐色シルト5%含む。
- 2 10YR3/4暗褐色シルト粘性あり、
10YR4/6褐色シルト20%含む。

SP121ピット

- 1 10YR3/4暗褐色シルト
粘性あり、炭少量含む。
- 2 10YR5/6黄褐色シルト
しまり、粘性あり。

滝ノ沢山遺跡SK116土坑



土層断面

完掘

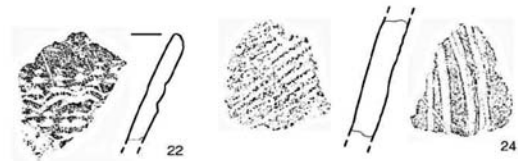
滝ノ沢山遺跡SP121



完掘

完掘

滝ノ沢山遺跡
SP121出土早期末葉の土器
(茅山下層式)



滝ノ沢山遺跡の早期の土器
1~8田戸下層式、9・10茅山上層式



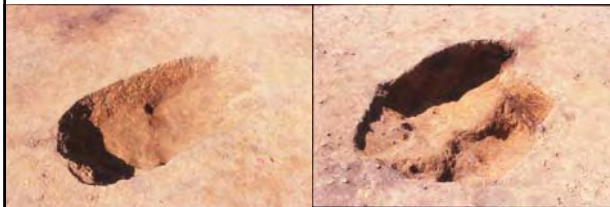
滝ノ沢山遺跡SK115土坑



土層断面

完掘

滝ノ沢山遺跡SK140・160土坑



滝ノ沢山SP104土坑



滝ノ沢山遺跡焼土遺構SL224



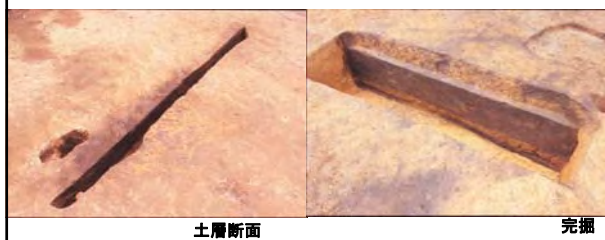
滝ノ沢山遺跡陥穴群



滝ノ沢山遺跡SK47陥穴



滝ノ沢山遺跡SK63陥穴



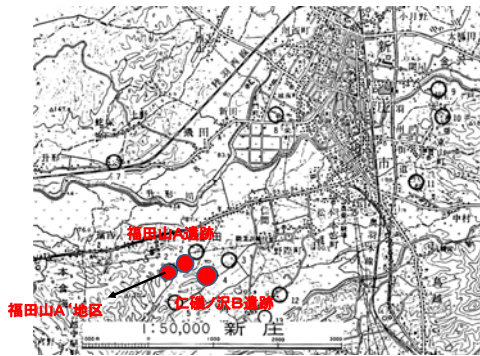
新庄市福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡

- 福田山A遺跡は新庄市大字福田字福田山に所在する。福田山北部丘陵の中央やや東の裾部に位置する。また、仁間磯ノ沢B遺跡は福田山A遺跡の東方約650m新庄市大字仁間字磯ノ沢に所在する。両遺跡とも昭和55年に新庄福田工業団地の造成工事に伴い山形県教育委員会が発掘調査を行った。

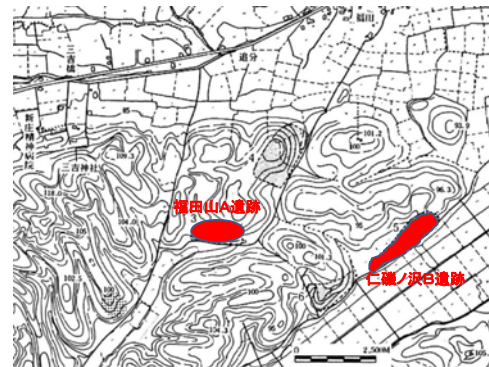
新庄市福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡

- 福田山A遺跡からは縄文時代早期の遺構は明確ではないが、貝殻腹縁圧痕文、貝殻条痕文のある早期後葉や末葉の土器が出土した。
- 仁間磯ノ沢B遺跡では部分的な検出にとどまっているが早期の竪穴住居跡が2棟と、福田山A遺跡と共通する早期の土器が出土している。

福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡位置図



福田山A・仁間磯ノ沢B遺跡位置図2



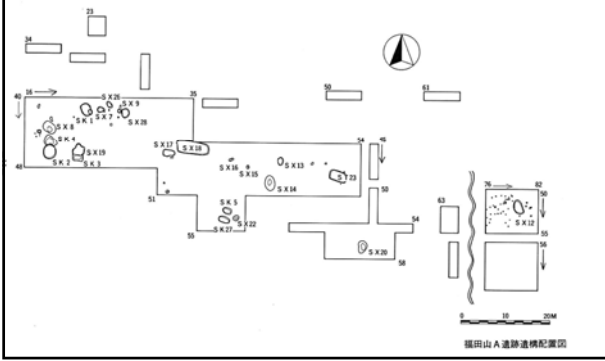
福田山A遺跡の調査区配置図



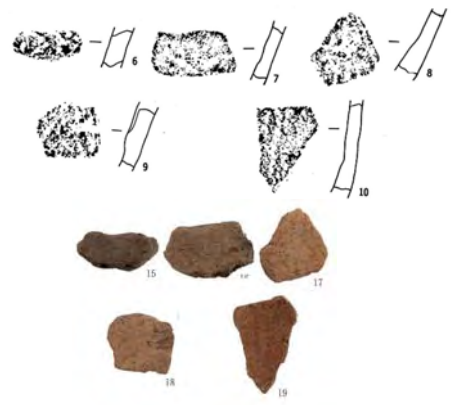
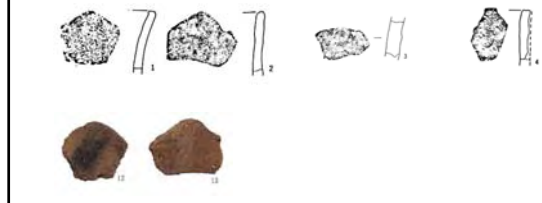
福田工業団地福田山A遺跡 発掘前近景



福田山A遺跡の遺構配置図

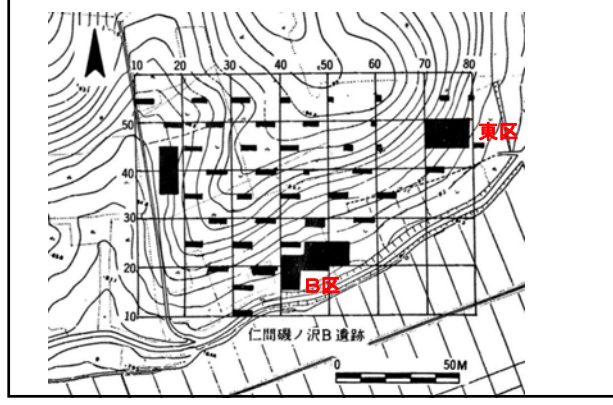


福田山A遺跡の早期の土器



福田山A遺跡の
早期末葉の土器

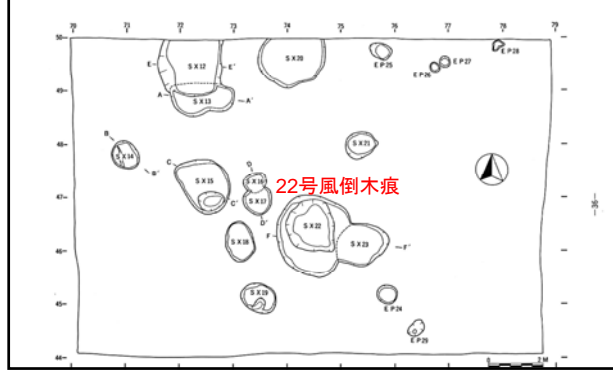
仁間磯ノ沢B遺跡調査区配置図



福田工業団地仁間磯ノ沢B遺跡
遠景



仁間磯ノ沢B遺跡東区遺構配置図



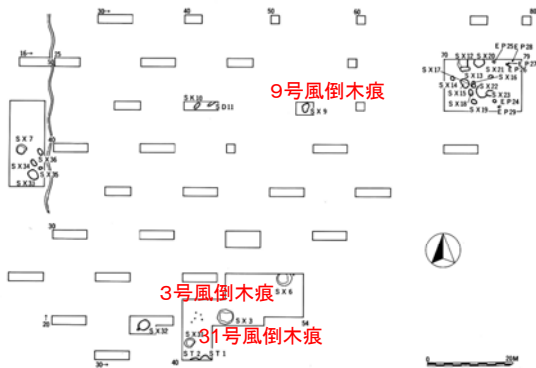
福田工業団地仁間磯ノ沢B遺跡
発掘風景



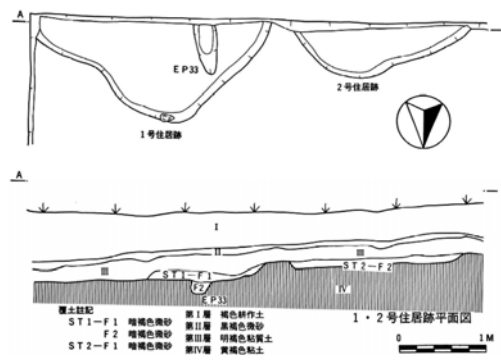
福田工業団地仁間磯ノ沢B遺跡
東区北半遺構



仁間磯ノ沢B遺跡B区遺構配置図



仁間磯ノ沢B遺跡の早期の住居跡

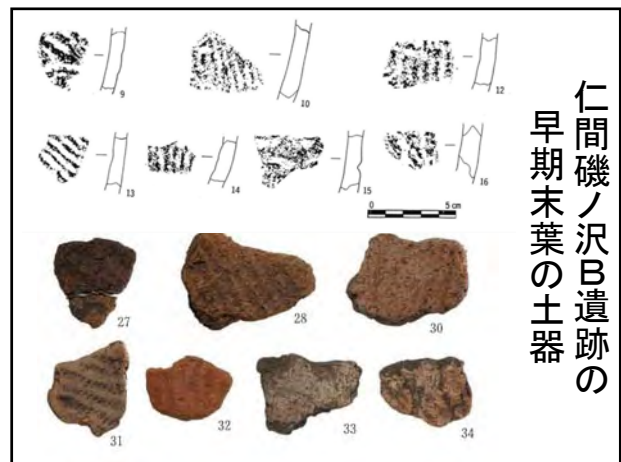
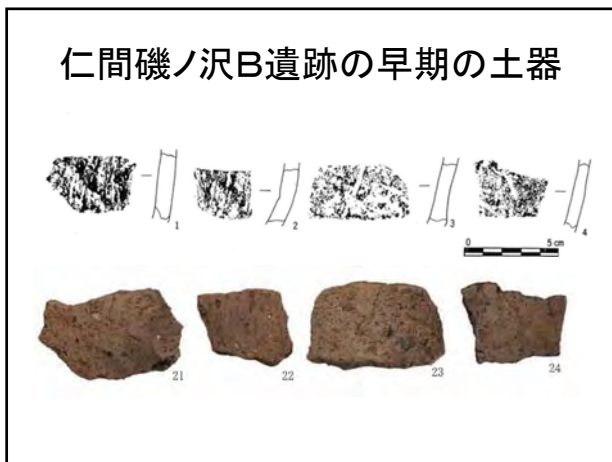
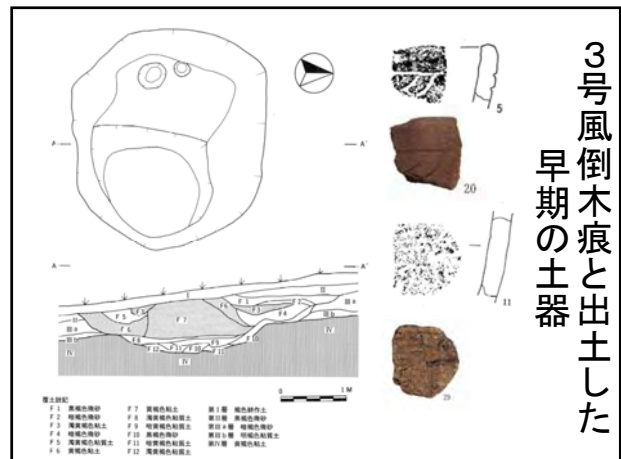
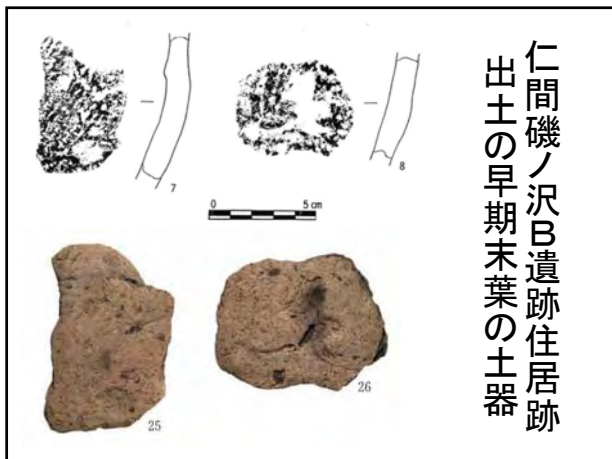


福田工業団地仁間磯ノ沢B遺跡
中央区ST1



福田工業団地仁間磯ノ沢BST1・2
SX31(東から)

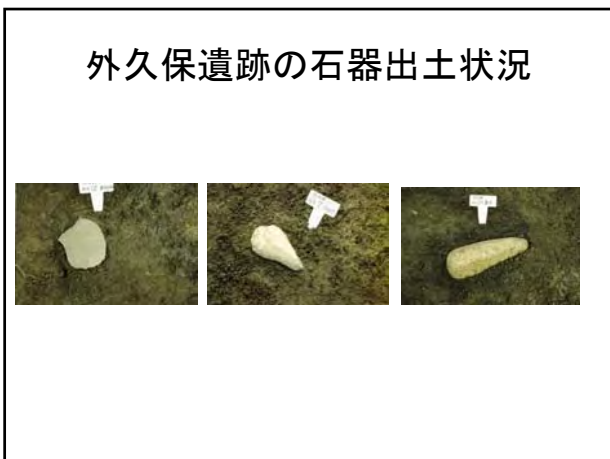
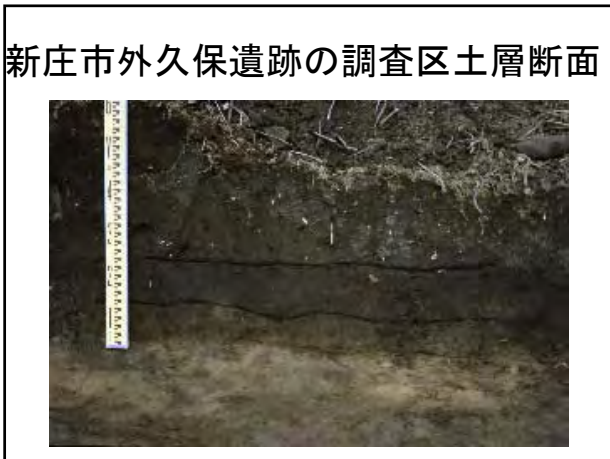




新庄市外久保遺跡

- 新庄市大字仁間字磯ノ沢に所在する。JR新庄駅の南西約3km、標高87m、新田川の扇状地上に立地する。主要地方道新庄次年子村山線の道路改良に伴い拡幅部分の東西6m、南北17mの範囲について、平成3年度に山形県教育委員会が調査を行った。
- 縄文土器片の細片と石篋、搔器などが出土した。土器は磨滅した小破片のため、時期決定はできないが、搔器や石篋、削器は早期のものともよい。



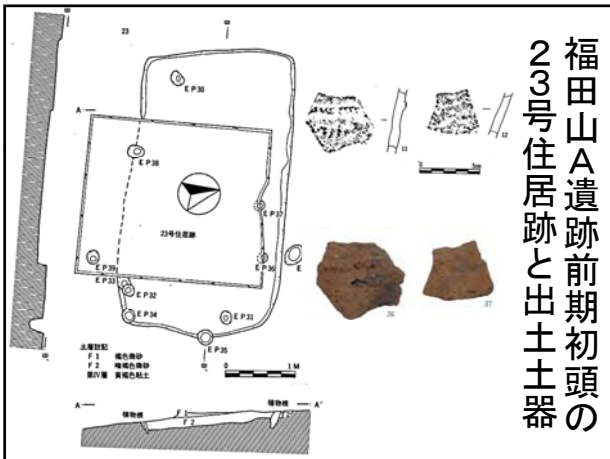


縄文時代前期の遺跡

- 縄文時代前期の遺跡の調査例も多くはない。新庄市福田山A遺跡、仁間磯ノ沢B遺跡、大蔵村上竹野遺跡、最上町水上遺跡、金山町本町遺跡、真室川町滝ノ沢山遺跡で縄文時代の遺構や遺物が検出されたが、資料数は少ない。

新庄市福田山A遺跡

- 福田山A遺跡で前期初頭の上川名Ⅱ式に併行する土器片が竪穴住居跡他から出土している。



前期初頭福田山A遺跡第3群b類土器



福田工業団地福田山A遺跡
ST23全景(西から)

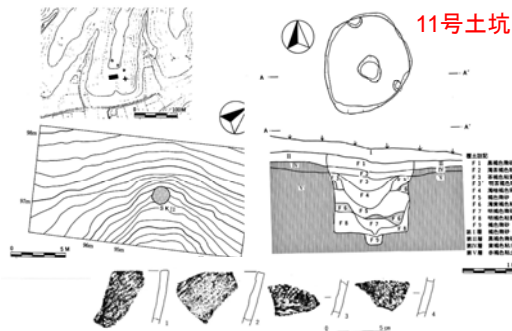


福田工業団地福田山A遺跡
ST23



福田山A‘地点の検出位置と

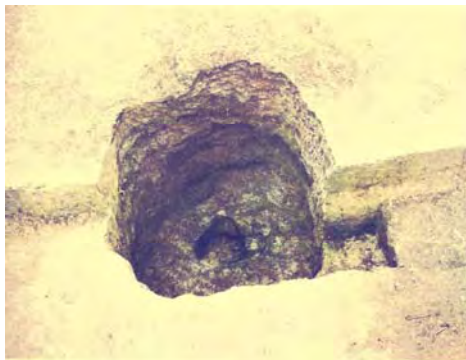
A‘地点の調査区 平面・断面図



福田山A‘地点の調査風景



福田山A‘地点のSK11全景



福田工業団地福田山A遺跡 SK2・4(北から)



前期初頭福田山A遺跡第3群c類土器



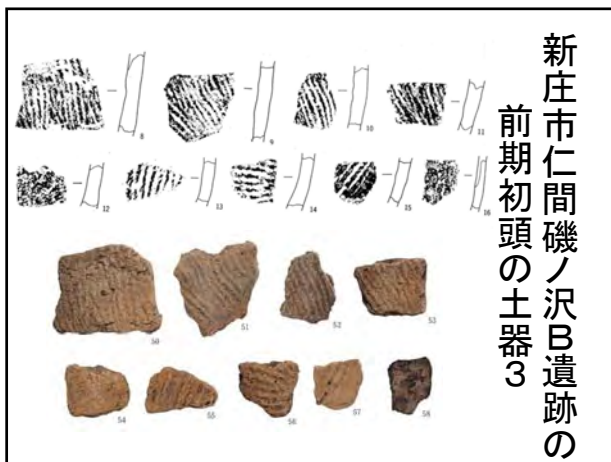
新庄市仁間磯ノ沢B遺跡

- 仁間磯ノ沢B遺跡でも前期初頭の上川名2式に併行する土器片が出土している。

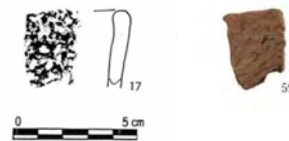
新庄市仁間磯ノ沢B遺跡の
前期初頭の土器1



新庄市仁間磯ノ沢B遺跡の
前期初頭の土器2



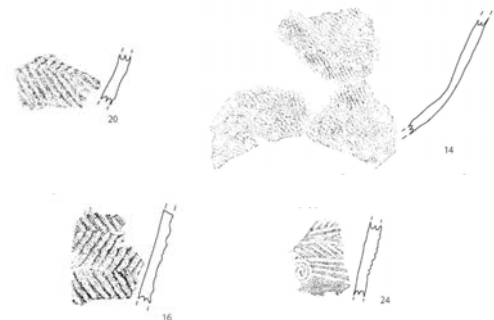
新庄市仁間磯ノ沢B遺跡の
前期初頭の土器4



大蔵村上竹野遺跡

- 大蔵村清水字上竹野に所在する。弥生時代の遺跡として古くから知られていた。国道458号線の道路改良事業に伴い、平成27・28年度に(公財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。
- 遺跡で出土した最も古い時期の遺物は、縄文前期初頭の上川名Ⅱ式土器である。この時期の明確な遺構は調査区内では確認されておらず、周辺遺跡でも集落跡の存在は不明瞭である。

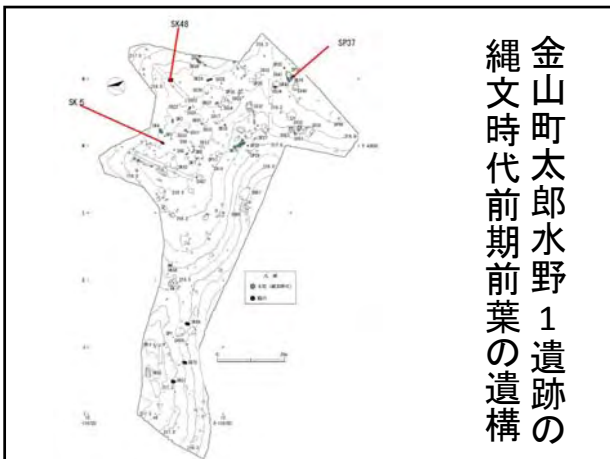
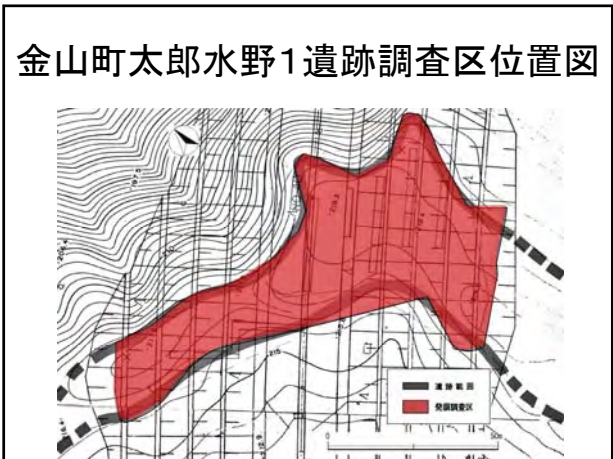
大蔵村上竹野遺跡出土の
上川名Ⅱ式土器





金山町太郎水野1遺跡

- 金山町大字下中田字太郎水野544-4他に所在する。下中田集落の南西に位置し、中田春木川の南の標高210~220mの洪積台地上に立地する。
- 東北中央自動車道に組み入れられる主寝坂道路の建設に伴い平成16年に(財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。
- 縄文時代前期中葉と、後期後葉、後期末から晩期の遺構や遺物が検出された。前期中葉の大木2a式の土坑3基、落込み3基、ピット3基と陥穴が検出された。



太郎水野1遺跡 調査区全景(東から)



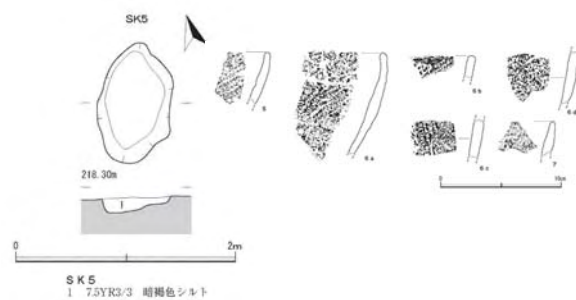
太郎水野1遺跡 調査区全景(西から)



太郎水野1遺跡 中央部(東から)



金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉の土坑と出土土器



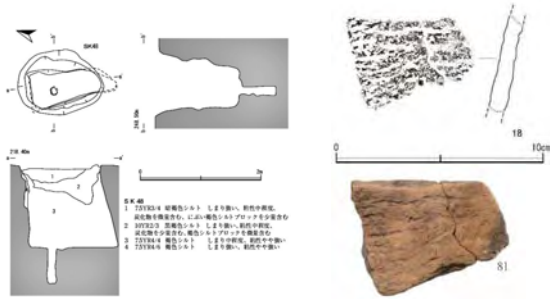
太郎水野1遺跡 SK5土坑



金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉の土坑と出土土器



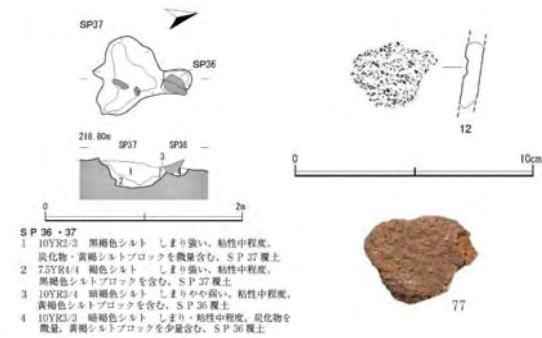
金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉の陥穴と出土土器



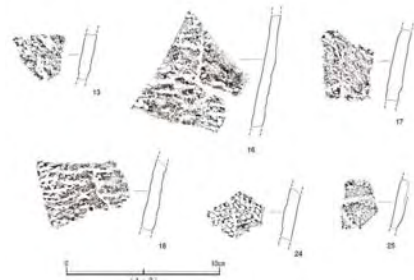
金山町太郎水野1遺跡の陥穴
SK48完掘



金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉の陥穴と出土土器



金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉大木2a式土器



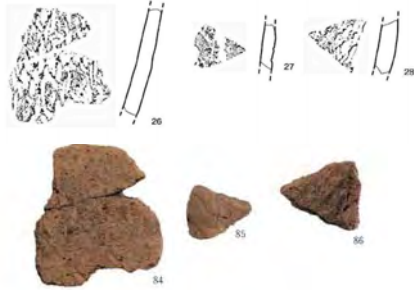
金山町太郎水野1遺跡縄文時代
前期前葉大木2a式土器



真室川町滝ノ沢山遺跡

- 早期の遺物が出土した滝ノ沢山遺跡で網目状撚糸文が施された前期前葉から中葉にかけての土器片と前期後葉大木4式に属する土器片が出土している。

真室川町滝ノ沢山遺跡の 前期中葉大木2b式土器



真室川町滝ノ沢山遺跡の 前期後葉大木4式土器



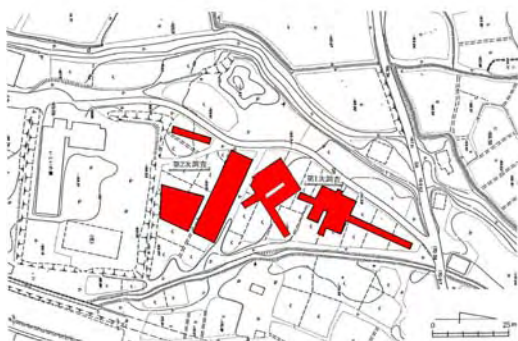
金山町本町遺跡

- 金山町大字金山字本町に所在する。金山川左岸の段丘上に立地する昭和55年に町立病院の建設に伴い町教育委員会が発掘調査を行った。
- 遺跡は中期を中心とする集落跡であるが、前期の土器も出土した。前期の土器は細い粘土紐を幾何学上に貼付する後葉大木5式土器である。

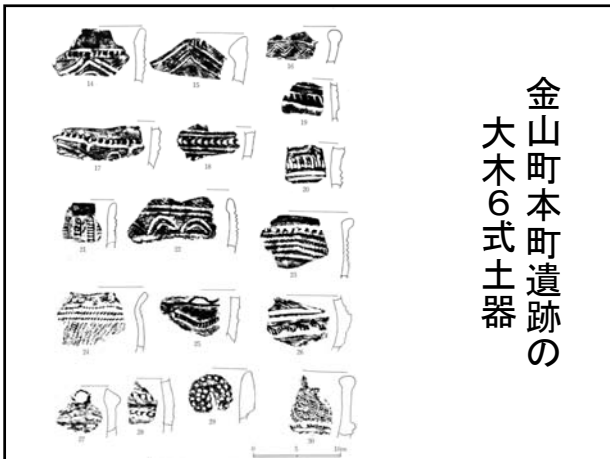
金山町本町遺跡位置図



金山町本町遺跡の調査区位置図



金山町本町遺跡の
大木5式土器



金山町本町遺跡の
大木6式土器

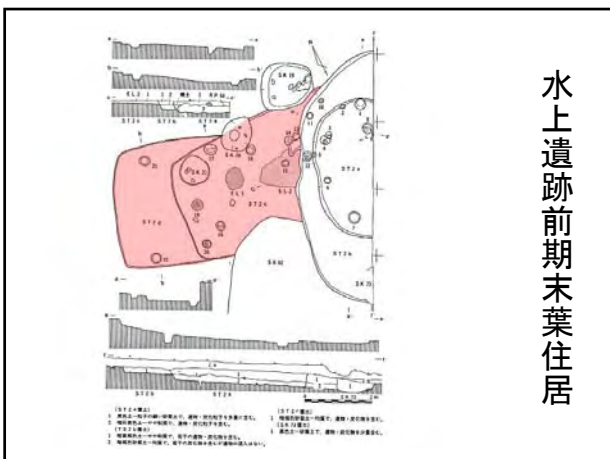
最上町水上遺跡

- 最上町大字向町字向町に新庄北高等学校最上校の敷地内に所在する。絹出川右岸の上段及び中段の段丘上に立地する。
- クラッド造成により昭和51年に、また、校舎建築に伴い昭和55年に県教委が発掘調査を行った。
- この2次調査時に半截竹管により山形沈線文などの特徴を持つ大木6式土器が出土している。

水上遺跡近景 北西から



水上遺跡遠景



水上遺跡前期末葉住居

水上 前期末葉の住居跡



水上遺跡前期末葉の土器



水上遺跡前期末葉の土器

